

一本報目錄ハ毎月盡日ニ調製シ翌月發刊ノ初號ト同時ニ
之ヲ配布ス
警察報様式

三百六十二

警察報第何號	何
令達訓示	日
明治二十九年	日
京都府警察部	
訓令第 號	
何々々々スヘシ	
年月日	
訓示第 號	
何々々々スヘシ	
年月日	
第何號	明治 年 月 日
官署	京都府知事
課	署
京都府警察部長	

通牒照會	
何第 號	
何々々々此段及通牒(照會)候也	
年月日	
何署所御中	京都府警察部
官報抄録	
法律、勅令、省令、訓令、第 號	
何々々々スヘシ	
年月日	
任 免 辭 令	何大臣
何月何日	
何々ヲ命ス	何々署長
何々ヲ命ス	警 部
何々ヲ命ス	何々署詰
	巡 査
	某
	某

三百六十三

給助	何月何日	元巡查	某
賞與	滿何年勤績ニ付一時金何圓下賜		
何月何日	何署詰	查	某
懲罰	何犯捕獲功勞著明ニ付賞金何圓下賜		
何月何日	何署詰	查	某
手当	何々々々ニ付罰金月俸百分ノ何ヲ科ス	何署詰	某
何月何日	何署詰	查	某
伺指令	何月何日何郡村某カ何々々々盗難ニ罹リタル旨何署ヨリ報告(通知)アリ		

雜報	伺指令ノ全文ヲ掲ク		
警部出張	○何警部ハ御用有之東上命セラレ何月何日出發セリ		
正誤	~~~~~		

目錄樣式

何年中	警察報目錄	自何號	何何號	京都府警察部
官報抄錄				
○番號何々ノ件	紙頁	日附	賞與	
令達訓示			以下倣之	
○番號何々ノ件	二	二		

通牒照會	
○番號何々ノ件	三三
伺指令	
何署伺何々ノ件	四四

訓令第五百五十七號 十二月二十三日

京都府測候所

明治二十年丙第四十三號測候所諸則左之通改定候條諸般ノ事務之ニ準據シ取扱フヘシ

京都府測候所事務規程

第一條 本所長ハ本府内務部長ノ指揮ヲ受ケ所内一切ノ事務ヲ總掌シ所員ニ分掌ヲ指示スルノ任ヲ有ス

第二條 本所長ハ規定外ノ事項又ハ臨時ニ生スル事件ハ

内務部第五條ニ商議シ之ヲ處理スヘシ

第三條 左ニ列記スル各項ハ所長之ヲ處分シ府知事へ報告スルヲ得

- 一 所務取扱細則ヲ定メ及變更スル事
- 一 小使ノ進退並日給拾五錢以下ヲ以テ人夫ヲ雇役スル事
- 一 一定額内拾圓以下ヲ以テ器械備品及消耗品ヲ購入シ並ニ氣象報告ヲ印刷スル事
- 一 一定額内五圓以下ヲ以テ器械備付品及構内損所ヲ修繕スル事
- 一 主管ノ事務ニ就キ中央氣象臺震災豫防調査會全國各測候所及ヒ本府部署課郡區役所町村役場並ニ學

校病院等ニ文書ヲ往復シ其他氣象上各衙ユリノ間
合ニ對シ回報スル事

第四條 本所受理ノ文書類ハ所長之ヲ閱シ捺印ノ上主任
ニ付配スヘシ

第五條 日々取扱事務及規定アル取調物等ハ所長ニ於テ
常ニ其濟否ヲ調査シ延滞ノ患ナカラシムヘシ

第六條 府知事へ上申スル事件ハ總テ内務部第五課ヲ經
テ之ヲ上申スヘシ但警報ノ如キ至急ヲ要スルモノハ之
ヲ直報シ後該課へ報告スヘシ

第七條 收受送達ニ係ル諸文書件名ハ遺漏ナク簿冊ニ記
入シ其經歷ヲ明瞭ナラシムヘシ

第八條 事務取扱件名所員勤惰表等ハ翌月五日迄ニ調製

差出スヘシ

第九條 本所取扱ノ諸帳簿ハ新舊共一々表目ヲ附シ嚴重
ニ保存スヘシ

第十條 所員退所ノ節ハ簿冊書類物品等渾テ整置シ散亂
ナカラシムヘシ

第十一條 郵便切手其他金錢出納ニ關スル計算ハ總テ地
方稅出納規程ニ據ルヘシ

第十二條 所長ヲ除ノ外技手ハ一名ツ、當直シ規定ニ據
リ觀測報告等ニ從事シ所内ノ取締ヲナスヘシ

但臨時異狀ノ際當直員ニテ其事務ヲ辨シ難キ場合ハ
所員ニ通知シ助務ヲ求ムヘシ

第十三條 宿直ノ翌日ハ休暇ヲ賜フト雖トモ事務ノ都合

ニ依リ滯所スルコトアルヘシ

第十四條 氣象電報ハ往復途中延滞ナカラシメン爲メ其

發着時間ヲ記載シ置ヘシ

但他ヨリ到達ノ電報モ亦同シ

訓令第五百十八號 十二月二十四日

警察署

明治二十七年京都府訓令第七十九號警察署保管物品出納

規程中左ノ通改正ス

第六條中第一號書式ニ依リ調製シ警部長ヲ經由當廳「テ」明

治二十八年會計検査院達第二號物品出納證明規程別記

書式ニ依リ調製シ府知事ニ改ム

全上但書削除ス

第七條中本規程第三條ノ受入ハ第二號書式ノ受入明細書

其拂出ハ第三號書式ノ拂出明細書本規程第五條ノ受入

ハ官没ノ決議書其拂出ハ買受入ノ領收書若クハ第四號

書式ノ證明書トス「テ」物品出納證明規程第三條ニ依ルニ

改ム

訓令第五百十九號 十二月二十四日

監獄署 監獄支署

明治二十七年京都府訓令第八十一號在監人所持品保管規

程第三條中第一號「テ」明治二十八年會計検査院達第二號物

品出納證明規程別記「ト」改正ス

訓令第六十號 十二月二十五日 畧ス

訓令第六十一號 十二月二十五日 畧ス

訓令第六十二號 十二月二十五日 畧ス

訓令第六十三號 十二月二十六日 畧ス

訓令第六十四號

十二月二十四日

三百七十二

尋常師範學校 尋常中學校 高等女學校 醫學校 簡易農學校
京都商業學校 美術工藝學校 盲啞院

學事年報取調條項自今左ノ通相定ム學校ノ設備以下ノ各項ハ歷年ノ調査ニヨリ翌年一月三十一日限り學校經濟ノ要項以下ノ各項ハ會計年度ノ調査ニヨリ翌年度七月十日限り別紙様式ノ調査表ヲ添ヘ申報スヘシ

(尋常師範學校ノ分)

- 一 學校ノ設備
- 一 生徒養成ノ狀況
- 一 生徒學業ノ進否
- 一 入學者生徒ノ種別從前ノ教育年齡等半途退學者ニ關スル狀況

- 一 生徒ノ健康ニ關スル狀況
- 一 生徒卒業後ノ狀況
- 一 附屬小學校ノ狀況
- 一 附屬幼稚園ノ狀況
- 一 豫備科簡易科講習科等ノ狀況
- 一 教科用圖書ノ適否需用供給ノ關係其他教科用圖書ニ係ル狀況
- 一 教員生徒等獎勵ノ要領
- 一 將來學事施設上須要ノ件
- 一 其他表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由
- 一 學事ニ付特ニ申報スヘキ事項アルトキハ適宜記述スヘシ

三百七十三

一學校經濟ノ要領寄付金ノ狀況學校基本財産積立ノ方

法等總テ學校維持及經濟上ノ得失ニ係ル狀況

一其他表式ニ示ス事項ノ計數増減ノ事由

(尋常中學校ノ分)

一學校ノ設備

一生徒養成ノ狀況

一生徒學業ノ進否

一入學者從前ノ教育
年齡等半途退學者ニ關スル狀況

一生徒ノ健康ニ關スル狀況

一生徒卒業後ノ狀況

一實科專修科ノ狀況

一教科用圖書以下各項尋常師範學校同文

但學校經濟ノ要領ノ下「授業料徴收ノ方法」ノ八字ヲ

加フ

(高等女學校ノ分)

一學校ノ設備

一生徒養成及修業年限ニ關スル狀況

一生徒學業ノ進否

一入學者從前ノ教育
年齡等半途退學者ニ關スル狀況

一生徒ノ健康ニ關スル狀況

一生徒卒業後ノ狀況

一技藝專修科補習科ノ狀況

一教科用圖書以下各項前同文

但前同文

(醫學校商業學校簡易農學校美術工藝學校ノ分)

- 一 學校ノ設備
 - 一 教員ノ資格
 - 一 入學者ノ資格
 - 一 授業ノ狀況
 - 一 生徒學業ノ進否卒業後ノ狀況
 - 一 教科用圖書以下各項前同文
 - 但前同文
- (盲啞院ノ分)
- 一 學校ノ設備
 - 一 學科ノ適否授業ノ狀況
 - 一 生徒學業ノ進否

- 一 生徒卒業後ノ狀況
- 一 教科用圖書以下各項前同文
- 但前同文

公示第一號 八月 日

尋常師範學校教員免許檢定願書ニ添付ノ醫師身体檢査證
 ハ左ノ書式ニ準シ記載スヘシ
 尋常中學校高等女學校ノミノ教員免許檢定願ニ付テモ無
 試驗檢定ニ係ル分ハ同檢査證ヲ添付スヘキモノトス
 身体檢査證

族 籍

姓

名

生 年 月

一呼吸器 喉頭、氣管支、肺臟及肋膜ノ健否

(該部ニ疾患アルトキハ其現症ヲ詳記スヘシ)

一神經系 腦及末梢神經ノ健否

(該部ニ疾患アルトキハ其現症ヲ詳記スヘシ)

一視官 視力及調節機狀況

一聽官 聽力ノ健否

一言語 明朗ナルヤ否

一皮膚 重患ニ因スル結節ノ存否

(以上掲ケサル症ト雖モ現存セル疾患及變形ハ之ヲ詳記スヘシ)

右検査候處相違無之候也

年月日

何病院醫師 姓

名印

(族籍 醫師 姓

名印)

公示第二號 八月

今般高等師範學校ニ於テ研究科規則實施要目及撰科規則實施要目別紙ノ如ク定メラレタリ

研究科規則實施要目

第一、研究科ニ入學スルヲ得ヘキ者ハ左ノ資格ヲ有スル者ニ就キテ學校長ノ特ニ適當ナリト認定シタル者ニ限ル

- 一、帝國大學分科大學及ヒ舊東京大學卒業生、元古典講習科卒業生、元理科大學簡易講習科優等卒業生、及ヒ大學撰科ヲ修メタル者

一、札幌農學校、高等商業學校、高等學校、高等中學校、東京工業學校及ヒ本校附屬音樂學校卒業生

一、内外國ニ於ケル官公私立ノ高等ナル學校ノ卒業生

一、高等師範學校及ヒ舊東京師範學校中學校師範學科卒業生

第二、 研究生ノ入學ハ毎學期ノ始トス但シ特ニ詮議ノ上臨時入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第三、 研究生ノ在學期限ハ二學期若シクハ一學年トス但シ本校ニ於テ必要ノ有無ヲ認定シ特ニ延期或ヒハ減縮ヲ許可スルコトアルヘシ

第四、 研究生ハ左ノ諸項ニ就キ學校長ノ許可ヲ得テ研究題目ヲ定ムヘシ

一、普通教育學特殊教育學及ヒ教育法令ノ全部或ヒハ一部

二、一學科或ヒハ數學科ノ教授法

三、單級教授法

四、内外教育史ノ全部或ヒハ一部

五、應用心理學ノ全部或ヒハ一部

又各自研究題目ニ就キテ研究スル外左ノ事ニ從ハシム

一、教育學會講

教育書類ノ會讀或ヒハ討究演說等ヲ爲サシメ教育

學教授之レヲ指導ス

一、學校參觀

本校附屬學校ハ勿論廣ク官公私立學校ヲ參觀セシ

一、實地練習

本校附屬學校ニ就キテ適宜擔任セシメ附屬學校主事之レヲ指導ス

尙又指導教授ニ於テ必要アリト認ムルトキハ研究題目

ニ關係アル本科課業ニ出席セシムルコトアルヘシ

第五、指導教授ハ研究生ノ報告書ニ就キテ爲セル批評ノ

大要ヲ學校長ニ申報スヘシ

第六、研究生研究ヲ完了シタルトキハ關係ノ教授其ノ成

績ヲ檢定シ意見ヲ具シテ學校長ニ申報スヘシ

學校長ハ該意見書ニ基キ適當ナリト認ムル者ニハ證明

書ヲ授與ス

第七、研究生ハ凡テ自費トス但シ入學試驗料及ヒ授業料ヲ徵收セス

撰科規則實施要目

第一、撰科生ノ入學ハ學年ノ始メトシ其ノ學科ノ種類及

ヒ生徒ノ員數ハ募集ノ都度之レヲ定ム

第二、撰科生ノ在學期限ハ二箇年以上四箇年以下ノ範圍

内ニ於テ學校長ノ許可ヲ得テ之レヲ定メシム

第三、撰科生入學、試験ノ科目ハ左ノ如シ

一、文科中ノ一科目若シクハ數科目ヲ撰フ者ニハ試問、國語、漢文、英語及ヒ所撰ノ學科トス

但シ國語漢文ノミ若シクハ其一ノミヲ撰フ者ニハ

英語ノ試験ヲ爲サス

二、理科中ノ一科目若シクハ數科目ヲ撰フ者ニハ試問、國語、英語、數學及ヒ所撰ノ學科トス

但シ動物或ヒハ植物ヲ撰フ者ニハ物理及ヒ圖畫ヲ以テ數學ニ代フ又手工ヲ撰フ者ニハ英語及ヒ數學ノ試験ヲ爲サス

三、體操ヲ撰フ者ニハ試問、國語及ヒ體操トス

參照

明治二十七年八月二十三日官報學事ノ項高等師範學校規則參照ヲ要ス

公示第三號 九月一日 畧ス

公示第四號 十一月一日 畧ス

公示第五號 十一月一日 畧ス

公示第六號 十一月十七日 畧ス

公示第七號 十一月十七日 畧ス

公示第八號 十一月十九日 畧ス

公示第九號 十一月廿五日 畧ス

公示第十號 十一月廿六日 畧ス

公示第十一號 十一月廿六日 畧ス

公示第十二號 十一月廿六日 畧ス

公示第十三號 十一月廿九日 畧ス

公示第十四號 十二月二日 畧ス

公示第十五號 十二月十三日 畧ス

- 公示第十六號 十二月 十五日 畧ス
- 公示第十七號 十二月 十五日 畧ス
- 公示第十八號 十二月 十六日 畧ス
- 公示第十九號 十二月 十八日 畧ス
- 公示第二十號 十二月 十八日 畧ス
- 公示第二十一號 十二月 十九日 畧ス
- 公示第二十二號 十二月 十九日 畧ス
- 公示第二十三號 十二月 廿二日 畧ス
- 公示第二十四號 十二月 廿六日 畧ス
- 公示第二十五號 十二月 二十八日 畧ス

今般香川縣ニ於テ漁業取締規則左ノ通發布候旨通知アリ
タリ

香川縣令第五十九號

漁業取締規則左之通之ヲ定ム

明治二十七年十二月二十日

香川縣知事小畑美稻

漁業取締規則

第一章 通則

- 第一條 本則ニ於テ漁業ト稱スルハ鹹水産動植物ヲ採捕スル營業ヲ云フ
- 第二條 前條ノ營業ヲナサントスル者ハ郡市長ノ許可ヲ得其鑑札ヲ受クヘシ
- 第三條 捕魚採藻等ノ營業ハ舊慣アルモノハ其舊慣ニ據ルヘシ
- 第四條 慣行ナキ漁業ヲナサントスル者ハ其關係市町村

ニ支障ナシト認ムルトキニアラサレハ之ヲ許可セズ
但公益ト認ムルトキハ特許スルコトアルヘシ

第五條 營業者ノ採捕上ニ付魚貝藻ノ蕃殖若クハ公益ヲ
害スルモノト認ムルトキハ郡市長ニ於テ何時ニテモ其
營業ヲ停止シ或ハ免許ヲ取消スコトアルヘシ

第六條 帆曳網(一名ウタセ網)ハ新ニ營業スルヲ許サス
但從來許可ノ者ト雖トモ他ノ慣行アル漁場ヲ距ルコ
ト五十丁以内ニ於テ之ヲ使用スヘカラス

第七條 潜水器械ヲ以テ貝類苔藻類海鼠類ヲ採捕スルコ
トヲ禁ス

第八條 漁場ニ於テ水産動植物ヲ害スヘキ物質ヲ用ヒテ
採捕スルコトヲ禁ス

第九條 各漁場ニ於テ營業セントスル者ハ縣ノ内外人ヲ
問ハス總テ其地ノ組合ニ加入シ其規約ニ遵フヘシ

第十條 營業鑑札ハ其營業中常ニ携帯シ之ヲ見ンコト
ヲ求ムル者アルトキハ之ニ應スヘシ

第十一條 營業鑑札ハ賣買讓與又ハ貸借等ヲ爲スコトヲ
得ス

第十二條 轉居改氏名其他鑑札面ニ異動ヲ生シタルトキ
又ハ之レヲ亡失毀損シ若クハ其文字不分明ニナリタル
トキハ直ニ其他漁業者總代並ニ組合頭取連署ノ上所轄
郡市長へ届出書換或ハ再渡ヲ請フヘシ

第十三條 左ノ各項ノ一ニ觸ル、者ハ頭取取締及漁業者
總代タルヲ得ス

一 瘋癲白癡ノ者

一 懲役又ハ重禁錮ノ刑ニ處セラレ所刑滿期後三年ヲ經サル者

一 身代限ノ處分ヲ受ケ負債ノ辨償ヲ終ヘサル者又ハ破産家資分産者ノ復權セサル者

一 婦女及二十年未滿ノ男子

一 區域外居住ノ者

一 本則第二十一條ノ處分ヲ受ケ滿一ケ年ヲ經サル者

第十四條 各組合ニ頭取一名取締三名以下ヲ置キ其組合

内漁業者總代ニ於テ撰擧シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

但不適當ト認ムルトキハ更ニ撰擧セシムルコトアル

ヘシ

第十五條 營業者アル各市町村ニ於テ漁業者總代三名以

下ヲ其市町村營業者(婦女及二十年未滿ノ男子ハ除ク)ニ

於テ互撰シ所轄郡市長ノ認可ヲ受クヘシ

第十六條 組合頭取取締ノ任期ハ三年漁業者總代ノ任期

ハ四ケ年トス

但滿期退任者ハ再撰セラル、コトヲ得補缺當撰者ハ

前任者ノ殘任期ヲ以テ其任期トス

第二章 出願及廢業手續

第十七條 慣行アル漁業ヲ爲サントスル者ハ其區域期節

並ニ漁具及鑑札ノ種類箇數ヲ明記シ其地漁業者總代並

ニ組合頭取連署ノ上所轄郡市長ニ願出ツヘシ

新規漁業ヲ爲サントスル者ハ前項明記ノ外尙ホ其關係

市町村ノ漁業者總代並ニ組合頭取ノ支障ナキ旨ノ保證書ヲ添へ願出ツヘシ

第十八條 前條ノ願書ニ記載スヘキ鑑札ノ種類箇數ハ左ノ區別ニ從フヘシ

網漁一帖或ハ一組毎ニ一枚

配繩漁一組毎ニ一枚

鯨漁一切ノ漁具ニ付一枚

釣漁雜漁採藻採貝業一人毎ニ一枚

一箇ノ漁具ヲ數人ニテ共有若クハ共用スルトキハ其總代人毎ニ一枚

第十九條 營業者休業又ハ廢業シタルトキハ鑑札ヲ添へ漁業者總代並ニ組合頭取ヲ經テ所轄郡市長ニ届出ツヘシ

第二十條 娛樂若クハ自家用ノ爲メ魚貝藻ヲ採捕スルモノト雖トモ本則第七條第八條及第九條ノ組合規約ニ定メタル禁止制限ノ事項ヲ遵守スヘシ

第三章 罰則

第二十一條 本則第二條第七條第八條第九條第十一條ヲ犯シタル者ハ三日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ壹圓以上壹圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス
第六條但書及第十條第十二條ヲ犯シタル者ハ一日以上三日以下ノ拘留又ハ貳拾錢以上壹圓貳拾五錢以下ノ科料ニ處ス

附則

第二十二條 本則ハ明治二十八年一月一日ヨリ施行ス
明治十五年愛媛縣甲第百二十一號同十七年同縣甲第百
八十二號同十八年同縣甲第七十二號同十九年同縣甲第
二十三號同第二十四號ノ各布達及同二十一年同縣令第
七十五號ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス

(漁業願書式)

漁業ノ義ニ付願

一何網一帖

何人掛使用

但字何々ニ於テ毎年何月何日ヨリ何月何日迄營業

一何釣(配繩)一組具

何人掛使用

但書前同斷

一何々

何々

但書前同斷

右ハ本縣漁業取締規則ヲ遵守シ前記ノ場所ニ於テ營業仕
度候條御許可ノ上鑑札御下渡被下度漁業者總代及漁業組
合頭取連署ヲ以テ此段相願候也

何市郡何村何番戶

身分(共有ハ總代)

年月日

氏名^印

右何市郡何村

漁業者總代

氏名^印

何漁業組合頭取

氏名^印

市郡長 宛

町長 奧書例文

(採藻願書式)

採藻業ノ義ニ付願

一採藻場

一ヶ所(藻ノ種類記載ヲ要ス)

但字何々ニ於テ毎年何月何日ヨリ何月何日迄營業

右ハ從來當何町限リ或ハ何町入會又ハ私採藻致來候場所

ニ付本縣漁業取締規則ヲ遵守シ營業仕度候條御許可之上

鑑札(採藻人別紙人名ノ通リ鑑札何枚)(採藻人總代名面ノ鑑

札一枚)御下渡被下度漁業者總代及ヒ漁業組合頭取連署ヲ

以テ此段相願候也

何市郡何町何番戶

身分(共有ハ總代)

氏 名 團

右何市郡何町

漁業者總代

氏 名 團

何漁業組合頭取

氏 名 團

市郡長 宛

町長 奧書例文

(新規漁業願書式)

新規漁業ノ義ニ付願

一漁具種願記載方前ニ同シ

但別紙海面字何々ニ於テ毎年何月何日ヨリ何月何日迄營業(發明漁具ハ其圖面及使用方法書ヲ要ス)

右ハ今般漁具發明(漁場發見)仕候ニ付本縣漁業取締規則ヲ遵守ス前記ノ場所ニ於テ新規營業仕度候條御許可ノ上鑑札御下渡被下度別紙繪圖面及保證書其他書類相添へ漁業者總代及漁業組合頭取連署ヲ以テ此段相願候也

年月日

何市郡何村何番戶 氏名 身分(共有ハ總代)

右何市郡何村何番戶 漁業者總代 氏名

何市郡何村何番戶 氏名

何漁業組合頭取 氏名

市郡長宛

町長與書例文

(新規採藻願書式)

新規採藻ノ義ニ付願

一採藻場一ヶ所 (藻ノ種類記載ヲ要ス)

但書採藻願書式ニ同シ

右ハ何々沖合ニ於テ採藻場發見候處在來ノ採藻場及漁場ノ妨害等無之ヶ所ニ付本縣漁業取締規則ヲ遵守シ營業仕度候條御許可ノ上鑑札(採藻人別紙人名ノ通鑑札何枚)(採藻人總代名面ノ鑑札一枚)御下渡被下度別紙繪圖面及保證書

相添漁業者總代及漁業組合頭取連署ヲ以テ此段相願候也

何市郡何町何番戶

身分(共有ハ總代)

年月日

氏名

右何市郡何町

漁業者總代

氏名

何漁業組合頭取

氏名

市郡長宛

町長奧書例文

(願書式圖面ノ凡例)

願書ニ添付スル繪圖面ハ美濃形判紙ニシテ方位ヲ付シ四隣ノ境界ヲ明カニシ漁場ハ淡赤トナシ採藻場ハ黃色トナシ海面ハ淡藍トナシ見通シハ朱線ヲ畫シ海岸平地ハ薄墨山野及島嶼ハ萌黃トナシ人家ハ稠密散在共其大略ヲ記シ務メテ明瞭ナルヲ要ス

公示第二十六號
三六日

京都市内ニ於テ前年來開鑿セシ新道及ヒ接續ケ所名稱左ノ通相定ム

一上京區一條通ヨリ中立賣通ニ至ル智惠光院通ノ新道

右名稱智惠光院通

一上京區鴨川東織物會社北手ヨリ吉田舊社家町ニ至ル新道

右名稱神樂岡道

一上京區吉田社家町ヨリ南平安神宮裏手道路ニ至ル新道

右名稱吉田町通

一上京區聖護院町熊野神社前ヨリ東廣道ニ至ル新道及ヒ
同社以西九太町橋迄

右名稱東丸太町通

一上京區二條通川端ヨリ頂妙寺裏手新道及ヒ東疏水濱迄

右名稱東二條通

一上京區川端通夷川上ル東へ入ル疏水南岸通朱雀橋迄

右名稱疏水西濱通

一同所續キ疏水西岸南へ仁王門通迄

右名稱疏水中濱通

一同所續キ疏水南岸東へ南禪寺前インクライン橋迄

右名稱疏水東濱通

一同所續キ東へ栗田口三條通ニ至ル新道

右名稱舟阪通

一下京區三條通粟田門前以北ノ新道

右名稱應天門正面通

一下京區高瀬川東縁リ四條小橋南新道

右名稱木屋町通

一下京區寺町五條ヨリ南へ上珠數屋町迄ノ新道

右名稱下モ京極

一下京區岩上通ヨリ新町通ニ至ル三哲通ノ新道

右名稱三哲通

一下京區妙法院前南ノ方泉涌寺道ニ至ル新道
右名稱妙法院前通

公示第二十七號 三六 月 日 略ス

公示第二十八號 三七 月 日 略ス

公示第二十九號 三七 月 日 略ス

公示第三十號 三八 月 日 略ス

公示第三十一號 三十三 月 日 略ス

公示第三十二號 三十三 月 日 略ス

今般大阪鐵山監督署大阪府下東成郡東平野町大字南平野
五百二十八番屋敷へ移轉本月十五日ヨリ同所ニ於テ事務
取扱候旨通知アリタリ

公示第三十三號 三十三 月 日 略ス

公示第三十四號 三十五 月 日 略ス

公示第三十五號 三十五 月 日 略ス

公示第三十六號 三十二 月 日 略ス

今般高知縣ニ於テ蠶種取締規則左ノ通り發布候旨通知アリ
タリ

高知縣令第十一號

蠶種取締規則左ノ通相定ム

明治二十八年二月十二日

高知縣知事石田英吉

蠶種取締規則

第一條 本則ニ於テ蠶種ト稱スルハ原種及製糸用種ニシ
テ越年セシムル者ヲ謂フ

第二條 管内ニ於テ蠶種ノ製造又ハ販賣ヲ業トスル者ハ

本則ノ規定ニ依リ本縣蠶種検査所ノ検査ヲ受クヘシ

第三條 蠶種ハ本縣蠶種検査所ノ検査合格ノ證印アル者

コアラサレハ管内ニ於テ之ヲ賣買シ又ハ讓與シ若クハ讓與ヲ受クルコトヲ得ス

本縣蠶種検査所ノ廢棄ノ證印アル者ハ管内ニ於テ之ヲ飼育スルコトヲ得ス

第四條 蠶種製造者ハ左ニ掲クル繭ヲ以テ製造ノ用ニ供

シ又ハ種類混淆ノ繭ヲ以テ製造スルコトヲ得ス

一同功繭

一薄皮繭

一汚繭

第五條 蠶種ハ框製普通製ノ二種トシ原種ハ總テ框製ヲ

ルヘシ

第六條 蠶種原紙ノ表面ニ春夏秋冬ノ種別及種類名稱ヲ記

載シ裏面ニ製造人ノ住所氏名會社又ハ組合ノ名簿ヲ明

記シ若クハ其印章ヲ押捺スヘシ

第七條 蠶種ノ検査ハ左ノ規定ニ據ル

一原種ハ親蛾ヲ検査シ無毒ナルモノヲ合格トス

一製糸用種ハ卵子ヲ検査シ微粒子病毒百分ノ五以下

ヲ合格トス

第八條 蠶種検査ノ證印左ノ如シ

一原種

合格無毒ノ証

朱

原種証
高知縣

圓形 徑四步

不合格ノ証

黒

廢藥ノ証
高知縣

長方形 縱三五步
橫三歩

一製糸用種

合格之証

朱

高知縣蠶種檢
査所製糸用種
檢査ノ証

橢圓形 縱壹寸八歩
橫壹寸

不合格之証

黒

高知縣蠶種檢査所
廢藥ノ証

長方形 縱壹寸五歩
橫八歩

第九條 販賣又ハ讓與ノ目的ヲ以テ蠶種ヲ製造セントスル者ハ掃立及製造見込ノ數量ヲ記載シ毎年一月三十一日限リ本廳へ届出ツヘシ

第十條 第二條ニ依リ檢査ヲ受クヘキ者ハ原種ハ親蛾數製糸用種ハ卵紙ノ枚數ヲ記載シ毎年七月三十一日限リ夏蠶秋蠶ニ就テハ別ニ定ムル期限ニ依リ本廳ニ届出ツヘシ其現品ハ檢査期日内ニ其製造ニ供シタル繭ヲ添付シ蠶種檢査所へ差出スヘシ
定期檢査期限後ニ於テ他府縣製造ノ蠶種ヲ輸入シ販賣讓與セントスル者ハ特ニ臨時檢査ヲ請フコトヲ得
第十一條 蠶種ニシテ第六條ノ規定ニ違背シタル者ハ檢査ヲ受クルコトヲ得ス

第十二條 自己ノ需用ニ供スルガ爲メ製造シタル蠶種ト

雖トモ第十條第一項ニ準シ検査ヲ請フコトヲ得

第十三條 蠶種検査員ハ蠶種製造所ニ臨檢シ飼育ノ狀況

病蠶ノ有無製造ノ方法ヲ視察スルコトヲ得製造者ハ之

レヲ拒ムコトヲ得ス

蠶種検査員前項ノ場合ニ於テハ検査員ノ證ヲ携帯スヘ

シ

第十四條 検査所ノ位置及検査期日并検査ニ關スル願届

手續ハ別ニ之ヲ公示スヘシ

第十五條 第二條第三條ニ違背シタル者ハ拾圓以下ノ罰

金ニ處ス

第十六條 第十三條ノ臨檢ヲ拒ム者ハ五拾錢以上壹圓九

拾五錢以下ノ科料ニ處ス

附 則

第十七條 本則ハ明治二十八年四月一日ヨリ施行ス

第十八條 第九條ノ届出ハ明治二十八年ニ在テハ四月十

日限トス

第十九條 明治二十七年ノ製造ニ係ル蠶種ニハ本則ヲ適

用セス

公示第三十七號 三三〇日略ス

公示第三十八號 三三〇日略ス

公示第三十九號 三三〇日略ス

京都商業學校規則左ノ通改正シ來ル四月一日ヨリ實施ス
規則第三十七條

第四 商業算術

商業算術ハ珠算筆算ヲ併用シ珠算ハ競争法ヲ設ク專ラ速算暗算ノ術ニ習練セシメ筆算ハ初メニ普通算術ヲ授ケ然ル後商業算術ヲ課ス又珠算筆算共務メテ施術正確迅速ニシテ誤謬ナキヲ旨トシ其問題ハ何レモ日用適切ノモノヲ撰ヒ以テ實地ニ活用セシメンコトヲ要ス

第九 商業地理歴史

内外各國ノ地理形勢市場港灣物産交通運輸輸出入ノ關係及商業歴史ノ要領ヲ授ク

第十 商業歴史 刪除

第十一 商品ヲ第十ニ繰上ケ

第十五 實習ヲ第十一ニ繰上ケ

第十二 物理 刪除

第十三 化學 刪除

第十四 英語ヲ第十二ニ繰上ケ

第十三 支那語又ハ朝鮮語

會話ハ簡短ナル語ヨリ始メ連語ニ移リ其稍熟スルニ及ソテ專ラ商業上必須ノ談話ヲ爲サシメ傍ラ語勢ノ頓挫抑揚ヲ正シ且口音ヲ爽快ニシ實地取引ニ濫艱ナカラシメンコトヲ要ス

作文ハ商業上普通用尺牘文及報告契約類等凡テ商業取引ニ必須ナル事項ヲ授ケ專ラ文意ノ流暢ヲ主トシ實用ニ適セシメンコトヲ要ス

第十四 讀書

讀書ハ普通ノ漢字交リ文ヲ授ケ傍ヲ實用ノ文ヲ作ルノ
資ニ供セシム

第十五 物理化學

諸力音響熱光電氣々象等ニ關スル性質原因並無機化學
有機化學ノ大意ヲ會得セシメ兼テ應用及鑑定法等ヲ
授ク

第十六 商業要項

商事ニ關スル各種ノ慣習及ヒ法規ノ概要ヲ授ケ以テ商
業使用人タル技能ヲ知得セシメソコトヲ要ス

學科課程表

本科

商 品	商業地理歷史	簿 記	商業 算術	習 字	商業 作文	國 語 漢 文	科 目	
							每 週 時 間	年 限
	二	四	四	二	二	三	講	第一 年
	內	和總 文論 記帳	珠算 筆算(四則 比例マテ)	行 草 細 字	往復文 証券文 記事文	讀		間時週每
	二	三	三	二	一	二	同	第 二 年
	內 外	英和 文文 記帳	珠算 筆算(百分算 リ級數マテ)	同 上	同 上 契約文 公用文	上		間時週每
	二	三	三	一	一			第 三 年
	同	同	珠算 筆算(商業算術 實地應用)	同 上	同 上			
	上	上						

圖	經	法	英	支那語 朝鮮語 又語	實	體	合
畫	濟	律	語	語	習	操	計
一	一	一	八	三		二	三
自在畫 用器畫 着色畫	通論	民法大意	誦讀 會話 釋讀 文書 取法	會話 文話		兵式	
	二	二	八	三	一	二	三
	貨幣銀行	商法	同作	同	豫	同	
	二	二	上	上	習	上	三
	銀行 爲替 貿易	同	八	三	六	二	
		上	同	同	內 外 國	同	
			上	上		上	

四百十六

支那語朝鮮語ハ生徒ノ志望ニ依リ其一科目ヲ撰修セシムルモノトス

豫科學科課程表中畫學科ノ着色畫及用器畫ヲ刪除シ數學ヲ算術ト改メ理化ヲ物理化學ト改ム
 簡易科學科課程表中數學ヲ算術ト改ム
 豫科入學試業科目中數學ヲ算術ト改ム
 簡易科第一年入學試業科目中數學ヲ算術ト改ム

- 公示第四十號 三月二十六日 略ス
- 公示第四十一號 三月二十六日 略ス
- 公示第四十二號 三月二十七日 略ス
- 公示第四十三號 三月二十八日 略ス
- 公示第四十四號 三月二十八日 略ス

公示第四十五號 三十八日

京都市河原町警察署ヲ本月二十九日上京區川端通丸太町
下ル下堤町ニ移轉ス

四百十八

公示第四十六號 二十九日 略ス

公示第四十七號 三十一日 略ス

公示第四十八號 四日 略ス

公示第四十九號 六日 略ス

公示第五十號 八日 略ス

公示第五十一號 八日 略ス

公示第五十二號 十四日 略ス

公示第五十三號 十四日 略ス

京都市府簡易農學校規則別紙ノ通相定ム

京都府簡易農學校規則

第一章 總 則

第一條 本校ハ簡易ナル方法ニ依リ農事教育ヲ施ス所ト
ス

第二條 本校ノ修業年限ハ二箇年トス

第三條 生徒ノ定員ハ百名トス

第四條 本校ハ巡回教授ノ方法ニ依リ當業者ニ農業上必
須ノ講話ヲナサンガ爲メ毎年便宜ノ地ヲ撰テ分教場ヲ
設ケ之ヲ某地農事講話所ト稱ス
但其規則ハ別ニ之ヲ定ム

第二章 學科課程

第五條 本校ノ學科課程ハ左ノ如シ

四百十九

第一學年

科目	科目	每週時間	第一學期	每週時間	第二學期
算術	珠算四則應用、比例	二	二	二	全比例、百分算
物理化學	物理學無機化學大意	五	五	五	物理學大意 有機化學
博物	動植物學大意	二	三	三	動植物學大意
土壤及改良	分類、性質、組成、耕耨、灌溉、排水	三			
肥料	肥料ノ種別性質	二	三	三	肥料ノ作物ノ關係及施肥法
重要作物			二	二	稻作、麥作、菜種作等
農具	農具ノ種類及運用法	一			
害虫			二	二	害虫ノ性質及驅除法
實習		二三		二二	

第二學年

科目	科目	每週時間	第一學期	每週時間	第二學期
氣象	氣象ノ大意及氣象ノ植物ノ關係	一			
重要作物	大麻、棉、煙草、茶、藍ノ類	四	三	三	全上及採糖作物
園藝	溫床、蔬菜、栽培	三	三	三	菓樹繁殖及栽培
養畜	家畜ノ飼養及管理	二	三	三	家畜飼料及衛生
農產製造	藍、茶、煙草、等ノ製造	二	二	二	酒精、澱粉、麥酒、味噌、醬油等ノ製造
森林	森林培養	二	二	二	森林保護
農業經濟			三	三	農家生計並農業組織等ニ適切ナル經濟事項
實習		二六		二四	
計		四〇		四〇	

第六條 學科ハ總テ平易ヲ主トシ成ルヘク實地ニ就キテ
教授シ專ラ應用練習セシムルヲ以テ要旨トス

第三章 學年、學期、授業時間休業

第七條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月卅一日ニ終ル
第八條 一學年ヲ分テ左ノ二學期トス

第一學期 四月一日ヨリ九月三十日ニ至ル

第二學期 十月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル

第九條 授業時間ハ每週三十八時乃至四十時トス

日曜日

大祭日 祝日

冬季 十二月二十八日ヨリ一月七日ニ至ル

第四章 入學、退學

第十一條 入學期ハ每學年ノ始トス

但時宜ニ依リ臨時入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十二條 入學ヲ許可スヘキモノハ身體強健品行端正志

望確實ニシテ左ノ各項ニ該當スルモノタルヘシ

一年齡十四年以上ノモノ

一尋常小學校ノ課程ヲ卒業シタルモノ若クハ之ト同

等以上ノ教育ヲ受ケタルモノ

一自己又ハ父兄ニ於テ土地ヲ所有シ躬ラ耕作ニ從事

シタルモノ

但郡農會長ノ証明アルモノハ前項ニ該當セサル所

アルモ特ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十三條 入學志願者ハ左ノ書式ニ據リ入學願書并學業

履歷書ヲ差出スヘシ
書式

入學願

私儀御校ニ入學修業仕度別紙履歷書相添此段相願候也

住所族籍

何某子弟又ハ戸主

姓 名 印

年月日

生年月

京都府簡易農學校長宛

履歷書

住所族籍

何某子弟又ハ戸主

姓 名

生年月

一何年何月ヨリ何學校又ハ何某ニ就キ何學修業

一何年何月ヨリ何學校ニ於テ何學科卒業

一卒業証書又ハ進級証書寫

右ノ通相違無之候也

年月日

姓 名 印

第十四條 入學志願者ハ市ノ區長若クハ町村長ヨリ土地

所有ニ係ル証明書ヲ受ケ本校ニ差出スヘシ

第十五條 入學ノ許可ヲ得タルモノハ丁年以上ノ戸主ニ

名ヲ保証人ト定メ左ノ書式ニ依リ在學証書ヲ差出スヘ

但保証人二名ノ内一名ハ學校近傍ノ市町村内ニ居住
スルモノニ限ル

書式

在學証書

私儀今般御校へ入學御許可相成候ニ就テハ諸規則堅
ク相守リ猥リニ退學等仕間敷候仍テ証書如斯候也

住所族籍

何某子弟又ハ戸主

年月日

姓

名印

生年月

前書ノ通り堅ク遵守致サスヘクハ勿論尙本人ニ關ス

ル一切ノ事件ハ保証人ニ於テ引請可申候也

住所族籍

保証人 姓

名印

生年月

全 上

保証人 姓

名印

生年月

京都府簡易農學校長宛

第十六條 保証人ニ於テ轉居シタルトキハ其旨速ニ届出

ツヘン

第十七條 生徒在學中各自ノ事故ヲ以テ退學スルヲ許サ

ス

但病氣其他已ムヲ得サル事情ニ依リ保証人連署ヲ以テ出願スルトキハ詮議ノ上許可スルコトアルヘシ

第五章 學 資

第十八條 修學特志ニシテ家計裕カナラサルモノニハ一ケ月金貳圓ノ學資ヲ補給ス

前項ノ補給ヲ受ケント欲スルモノハ其志望及家計ノ狀況ニ就キ市ノ區長若クハ町村長ノ證明書ヲ得學校長ニ出願スヘシ

學校長ニ於テ學資補給願ヲ許否セントスルトキハ豫メ知事ノ指揮ヲ請フヘシ

第十九條 第十七條但書ニ依リ退學ヲ許シ若クハ第二十七條ニ依リ放校ヲ命シタルトキハ在學中給與シタル學

資ヲ一時ニ償還セシムヘシ

但第十七條但書ニ依リ退校ヲ許シタル場合ハ詮議ノ上特ニ學資償還ヲ免スルコトアルヘシ

第六章 試 業

第二十條 試業ヲ分テ臨時試業學期試業ノ二種トス

臨時試業ハ各科進步ノ程度ニ從ヒ隨時其成績ヲ檢ス

學期試業ハ其期間履修シタル科業ニ就キ其成績ヲ檢ス

第二十一條 凡テ試業ハ口述筆記若クハ實驗ヲ以テ之ヲ行ヒ其成績ヲ評定ス

第二十二條 學期試業ノ評定ハ平常ノ成績ヲ參酌シテ之ヲ定メ以テ其及落ヲ判ス

第二十三條 最後學期試業ニ合格シタルモノニハ左ノ書

式ニ依リ卒業証書ヲ授與ス
書式

證

族籍

姓名

生年月

校印

本校所定ノ科業ヲ修了セリ仍テ其卒業ヲ證ス

年月日

京都府簡易農學校長姓

名印

番號

第七章 賞罰

第二十四條 最後學期試業ノ成績優等ニシテ平素ノ操行

方正ナルモノニハ褒賞ヲ附與スルコトアルヘシ

第二十五條 怠惰不品行ニシテ成業ノ見込ナキモノ若ク

ハ校規ヲ犯シ職員ノ諭告ニ抗シ又ハ生徒分外ノ所行ニ

涉ルモノハ其情狀ニ依リ左ノ條項ニ照シテ之ヲ處罰ス

一 譴責

一 謹慎

一 停學

一 放校

第八章 寄宿舍

第二十六條 本校ニ寄宿舍ヲ置キ生徒ヲ寄宿セシム

但時宜ニ依リ通學ヲ許可スルコトアルヘシ

第二十七條 入舍生徒ハ舍則ヲ遵守シ言行ヲ謹ミ信義ヲ

重シ總テ監理者ノ指示ニ從フヘシ

第二十八條 起床就寢食事等ノ時刻門限等ハ日ノ長短ニ依リ便宜之ヲ定ム

第二十九條 生徒ハ起床時就寢時ハ於テ人員検査ヲ受クヘシ

第三十條 舍内ニ在テハ嚴肅ヲ旨トシ粗暴喧騒ノ舉動アルヘカラス

第三十一條 生徒ハ室内ノ掃除ニ注意シ書籍其他諸器物ノ整頓ヲ怠ルヘカラス

第三十二條 生徒ハ指定ノ場所ニ在ラサレハ飲食スルヲ禁ス

第三十三條 生徒ハ舍ノ内外ヲ間ハス總テ金錢ノ貸借ヲ

禁ス

第三十四條 貸與ノ書籍其他ノ諸器物ハ鄭重ニ之ヲ取扱

フヘシ若シ紛失又ハ毀損シタルトキハ直ニ其手續書ヲ差出シ監理者ノ指揮ヲ待ツヘシ

第三十五條 病氣又ハ其他ノ事故ニ依リ欠課スルトキハ授業時間前監理者ニ届出ツヘシ

第三十六條 疾病ニ罹ルトキハ監理者ニ申出醫師ノ診察ヲ受クヘシ

但病症ニヨリテハ直ニ療病院ニ入ラシメ或ハ保証人ニ引取ラシムヘシ

第三十七條 冬季休業中其他疾病ノ場合ニ在テハ歸郷若クハ旅行ヲ許ス

第一條 農事講話所ハ平易ナル談話体ヲ以テ當業者ノ爲ニ農業上必須ノ講話ヲナス所トス

第二條 農事講話所ヲ分テ第一期及一トス

第三條 第一期講話所科目ハ左ノ如シ

一 肥料論

一 土壤及土地改良

一 重要作物(稻、麥、菜種)

第四條 第一期講話所ハ管内九箇所ニ設ケ其講話日數ハ十三日間トス

但位置及期日ハ其都度廣告スヘシ

第五條 第一期講話所生徒ハ年齢十七歳以上ニシテ實際

農事ニ從事スルモノヨリ郡農會長ニ於テ選抜シ開場十

五日以前本校ニ届出タルモノタルヘシ

第六條 第二期講話所科目ハ左ノ如シ

一 肥料論

一 園藝

一 動物飼養

一 重要作物栽培

(藍、棉、煙草、茶、大麻等)

第七條 第二期講話所ハ管内三箇所ニ設ケ其講話日數ハ三十日間トス

但位置及期日ハ其都度廣告スヘシ

第八條 第二期講話所生徒ハ第一期講話所習得生ヨリ郡

農會長ニ於テ選抜シ開場二十日以前本校ニ届出タルモ
ノタルヘシ

第九條 農事講話所ノ講話時間ハ渾テ毎日五時間トス
但時宜ニヨリ伸縮スルコトアルヘシ

第十條 講話所生徒欠席ナク其講話科目ヲ習得シタルモ
ノハ習得證書ヲ授與ス

第十一條 生徒ノ費用ハ自辨タルヘシ

第十二條 怠惰不品行ニシテ成業ノ見込ナキモノ又ハ他
生徒ノ妨害ヲナスモノト認ムルトキハ退所ヲ命スヘシ
生徒心得

第一條 講話中ハ靜肅ヲ主トシ粗暴喧囂ノ舉動アルヘカ
ラス

第二條 生徒ハ誠實謙恭ヲ以テ人ニ接シ講師及監督者ノ
指揮ニ從フヘシ

第三條 生徒ハ病氣其他ノ事故ニ依リ欠席スルトキハ其
旨開講前ニ届出ツヘシ

第四條 講話中ハ喫烟又ハ談話ヲ禁ス

第五條 貸與シタル器械類ハ總テ丁寧ニ取扱ヒ若シ毀損
シタルトキハ之ヲ辨償セシムヘシ

公示第五十四號 四月略ス
公示第五十五號 四月十五日 市一般

狩獵免狀ヲ受ケント欲スル者ハ従前ノ通區役所ヲ經由シ
テ出願スヘシ

公示第五十六號 四月略ス

公示第五十七號 四月十九日略ス

公示第五十八號 四月廿二日略ス

公示第五十九號 四月廿三日

京都府尋常中學校規則別紙之通相定ム

京都府尋常中學校規則

第一章 總則

第一條 本校ハ實業ニ就カント欲シ又ハ高等ノ學校ニ入
ラント欲スルモノニ須要ナル教育ヲ爲ス所トス

第二條 本校脩業年限ヲ五ケ年トシ一ケ年ヲ以テ一學年
ニ配ス

第二章 學科課程

第三條 本校ノ學科ハ倫理國語及漢文外國語歷史地理數

學博物物理及化學習字圖畫牀操トス

第四條 本校ノ學科課程ハ別表ノ如シ

第三章 學年、學期、授業時間、休業日

第五條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月卅一日ニ終ル

一學年ヲ左ノ三學期ニ分ツ

第一學期 四月一日ヨリ七月廿五日ニ至ル

第二學期 九月六日ヨリ十二月廿四日ニ至ル

第三學期 一月八日ヨリ三月卅一日ニ至ル

第六條 授業時間ハ每週廿九時乃至三十一時毎日五時乃

至六時トス

但授業時ノ始終ハ日ノ長短ニ由リテ之ヲ定ム

第七條 休業日ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一 孝明天皇祭 一月三十日
- 一 紀元節 二月十一日
- 一 春季皇靈祭 春分日
- 一 本校紀念日 四月一日
- 一 神武天皇祭 四月三日
- 一 秋季皇靈祭 秋分日
- 一 神嘗祭 十月十七日
- 一 天長節 十一月三日
- 一 新嘗祭 十一月廿三日
- 一 日曜日
- 一 夏期 自七月二十六日至九月五日
- 一 冬期 自十二月二十五日至一月七日

第四章 入學、退學

第八條 入學ハ學年ノ始トス

但時宜ニ由リ臨時入學ヲ許スコトアルヘシ

第九條 本校第一年級ニ入學セシムヘキ者ハ身體健康年齡滿十二年以上ニシテ高等小學校第二年ノ課程ヲ卒リタル者若クハ之ニ均シキ學力ヲ有スル者トス

第十條 第一年級ニ入學者ノ學力ノ檢定ハ高等小學校第二年ノ課程ヲ卒リタル志願者ニ對シテハ其修業証書ニ依リ其他ノ志願者ニ對シテハ試驗ニ依ル

高等小學校第二年ノ課程ヲ卒リタル志願者ニハ其他ノ志願者ニ先チテ入學ヲ許スコトアルヘシ但高等小學校第二年ノ課程ヲ卒リタル志願者ノ數入學セシムヘキ人

員ニ超過スルトキハ仍試験ニ依リテ入學者ヲ撰拔ス

第十一條 第一年級ノ入學試験ハ高等小學校第二年ノ課

程ヲ卒リタル者ニ對シテハ讀書、作文、習字、算術ニ就キ其

他ノ志願者ニ對シテハ尙日本歴史、日本地理ヲ加ヘ高等

小學校第二年卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フヘシ

第十二條 入學ヲ願フ者ハ第一號書式ノ入學願書並ニ第

二號書式ノ學業履歷書ヲ出スヘシ

第十三條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ五日以内ニ第三號書

式ノ在學證書ヲ出スヘシ

第十四條 脩業半途ニシテ漫ニ退學若クハ轉學スルコト

ヲ許サス

但不得止事故ニ由リ父兄及保証人連署ヲ以テ願出ツ

ルトキハ詮議ノ上許可スルコトアルヘシ

第十五條 左ノ各項ニ該當スル者アルトキハ學校長ノ意

見ヲ以テ停學除名若クハ放校ニ處ス

一職員ノ戒諭ニ順ハス又ハ生徒分外ノ所行アルモノ

一無届欠席ニヶ月以上ニ及ヒタルモノ

一學業進マズ若クハ二回引續キ落第シタルモノ

第五章 試業、操行、証書

第十六條 試業ヲ分テ臨時學年ノ二種トス

臨時試業ハ各學科進步ノ程度ニ從ヒ各教員ノ見込ヲ以

テ一學期內ニ二回以上之ヲ行フモノトス

學年試業ハ每學年末ニ於テ該學年中履修セル諸學科ヲ

試験スルモノトス

第十七條 學年及ヒ學期ノ終ニ於テ生徒ノ操行ヲ查定シ

試業成績ト照合シテ學年及ヒ學期成績ノ等位ヲ定ム

第十八條 學年及ヒ學期成績ノ等位ハ第一ヨリ第六ニ至

ル六等トシ五等以上ヲ合格トス

第十九條 操行學力共ニ優秀ニシテ他生徒ノ模範トナル

モノハ學年末ニ於テ特ニ賞與スルコトアルヘシ

第二十條 學年試業ヲ受クルコト能ハサルモノ及ヒ學年

成績不合格ノモノハ總テ原級ニ止ム

第二十一條 平素操行學力共ニ優等ナルモノハ學校長ノ

見込ヲ以テ臨時昇級セシムルコトアルヘシ

第二十二條 本校ノ科程ヲ脩了シタルモノハ第四號書式

卒業證書其他ノ學年成績合格ノ者ニハ第五號書式ノ進

級證書ヲ授與ス

第二十三條 操行查定及ヒ試業ニ關スル細則ハ學校長之

ヲ定メ府知事ノ裁可ヲ經ルモノトス

第六章 授業料

第二十四條 授業料ハ管内及ヒ管内全戸寄留ノモノ一ヶ

月金壹圓管外ノモノ全壹圓貳拾錢トス

第二十五條 授業料ハ毎月五日迄ニ其月分ヲ納ムヘシ

但納期後入學スルモノハ入學ノ際之ヲ納ムヘシ

第二十六條 本校休業全月ニ及フカ若クハ生徒疾病其他

已ムヲ得サル事故ニ因リ其旨届出ノ上欠席全月ニ及フ

時ハ其月分ノ授業料ヲ徴收セス

第二十七條 期限ヲ過キ授業料ヲ納メサル者ハ停學ヲ命

スルコトアルヘシ此場合ニ於テハ保証人ヨリ徴收スル
モノトス

第一號 (用紙美濃紙)一通

入學願

住所族籍(寄留人ナレハ寄留所共)

(主戸ニ非ラサレハ其何男又ハ弟)

種天然痘何回濟

父兄 氏 名

名

何年何月何日生
當何年何ケ月

右者今般御校第何年級へ入學爲致度候ニ付操行學力御檢
定ノ上御許可被下度別紙本人履歷書相添此段願出候也

右父兄(若クハ後見人)

明治年月日

氏 名 印

京都府尋常中學校某殿

第二號 (用紙美濃紙)一通

履歷書

學業

一明治何年何月何地何學校ニ入り何級迄脩業或ハ何年卒
業

一全何年何月ヨリ何年何月迄何某ニ就キ何學脩業

一用書何々

賞 罰

一明治何年何月何所ニ於テ何々ニ付賞又ハ罰ヲ受ク
右之通相違無之候也

明治年月日

氏 名 印

第三號

在學証書

住所族籍(寄留人ナレハ寄留所共)
月主ニアラサレハ某何男又ハ弟)

父兄 氏 名

何年何月何日生
當何年何ヶ月

右者今般入學御許可相成候ニ付テハ在學中一切ノ事件ハ
私共引請可申ハ勿論御校則堅ク爲相守可申候仍テ証書如
此候也

年 月 日

住所族籍

父兄若クハ後見人 氏

名 印

住所族籍

保証人 氏

名 印

京都府尋常中學校校長某殿

保証人ハ京都市内ニ居住シ一家計ヲ立テ年齢二十歳以上ニシテ本校ヨリ適當ト認め
タル者タルヘシ

第四號

卒業證書	校 印	右ハ本校ノ教科ヲ履修シ成規ノ 試験ヲ經テ正ニ其業ヲ卒ヘタリ	仍テ之ヲ證ス	年 月 日	番 號
氏 何年何月生	氏 何年何月生	氏 何年何月生	氏 何年何月生	氏 何年何月生	氏 何年何月生
族 籍	族 籍	族 籍	族 籍	族 籍	族 籍
京都府尋常中學校校長某殿	校 印	校 印	校 印	校 印	校 印

證

校印

族籍

氏何年何月生

尋常中學校第何年級修

業才證不

年月日

京都府尋常中學校

番號

京都府尋常中學校教科課程表

地 理	歷 史	外 國 語	國 語		倫 理	學 科 / 學 年
			漢 文	國 語		
本邦地理 三	本邦歷史 一	音讀、譯解、 書習、字取 六	講作、文讀 七	講作、文讀 七	講、演 一	授業時數 一年級
全	全	全全全	全	全全	全	授業時數 二年級
上	上	上上上	上	上上	上	授業時數 三年級
亞細亞及 南洋地誌 四	東邦諸國 二	全全 文法綴文 七	全 上	全 文法及作文 上	全 上	授業時數 四年級
歐米諸國及 亞非利加地誌 三	西洋諸國 二	音讀、譯解、 文法作文 七	全 上	全 上上	全 上	授業時數 五年級
本邦政治地誌 四	西洋諸國史 本邦歷史 二	會反譯作文 話文 七	全 上	全 作全 文上	全 上	授業時數

備考 三年級以上ニハ体操科ニ於テ每週三時間以内隨意科トシテ擊劍柔術ヲ課ス	計	二九	二九	三〇	三二	三一	三一
	數學	四算術 一幾何 一初歩 一三	四算術 一幾何 一何數 一三	四代數 一上 一三	四全 一上 一三	四全 一上 一三	四全 一上 一三
	博物	一動植物示 一教	一理化學示 一教	植物學	動物學	生理衛生 一法	物理學 一
	物理及化學				化學	物理學	
	習字	二楷行書	一楷行細字 及ヒ速寫				
圖書	二毛筆畫	二毛筆畫 幾何畫法	二毛筆畫 投影畫法	二鉛筆畫 透視畫	一鉛筆畫		
体操	三柔軟体操 三各個教練 三陸軍禮式	三全上(携銃) 三全上	三器械体操 三小隊教練 三野外要務令	三全中隊教練 三全上	三全小隊長以下 三幹部演習射 三擊劍		

四百五十二

公示第六十號 二十三日 略ス

公示第六十一號 二十六日 略ス

公示第六十二號 二十六日 略ス

公示第六十三號 二十七日 略ス

公示第六十四號 二十八日 略ス

公示第六十五號 一日 略ス

一社寺境内民有地ヲ使用セントスルモノハ明治二十四年六月當廳告示第四十號境内官有地ニ準シ其社寺へ申出テ許諾ヲ受クヘシ

一社寺ニ於テ右申出ヲ受ケタルトキハ明治二十四年六月丙第七十號及同年十月丙第九十三號達ノ通心得ヘシ

公示第六十六號 四日 略ス

四百五十三

- 公示第六十七號 五月略ス
- 公示第六十八號 五月略ス
- 公示第六十九號 五月略ス
- 公示第七十號 五月略ス
- 公示第七十一號 五月略ス
- 公示第七十二號 五月略ス
- 公示第七十三號 五月略ス
- 公示第七十四號 五月略ス
- 公示第七十五號 五月略ス
- 公示第七十六號 五月略ス
- 公示第七十七號 五月略ス
- 公示第七十八號 五月略ス

公示第七十九號 五月

府下宇治郡山科村特別稅條例ニヨリ土地買得又ハ讓受ケ
 ナシタルモノニ賦課スル村稅ハ直接稅トス

- 公示第八十號 五月略ス
- 公示第八十一號 五月略ス
- 公示第八十二號 五月略ス
- 公示第八十三號 五月略ス
- 公示第八十四號 五月略ス
- 公示第八十五號 五月略ス
- 公示第八十六號 五月略ス
- 公示第八十七號 五月略ス
- 公示第八十八號 五月略ス

公示第八十九號 十六日 略ス

公示第九十號 十七日 略ス

公示第九十一號 十七日 略ス

公示第九十二號 十八日

町村制第四條二項ニ依リ紀伊郡向島村大字葭島新田字矢倉島七十三番郡村宅地段別三畝十七步同七十三番ノ一郡村宅地段別二畝二步ヲ同郡伏見町字西柳ニ編入セリ

公示第九十三號 二十日 略ス

公示第九十四號 二十二日 略ス

公示第九十五號 二十五日 略ス

公示第九十六號 二十六日 略ス

公示第九十七號 二十六日 略ス

公示第九十八號 二十七日 略ス

公示第九十九號 一月 略ス

公示第一百號 三月

府下相樂郡中和東村歩一稅愛宕郡下鴨村歩一稅ハ直接村稅ト定メラル

公示第一百一號 八月 略ス

公示第一百二號 九月

府下南桑田郡本梅村役場内ニ設置セル陸軍臨時召集旅費支給所ヲ廢シ同郡役所内ニ合置ス

公示第一百三號 九月 略ス

公示第一百四號 十一月 略ス

公示第一百五號 十二月 略ス

公示第百六號 七月十五日略ス

公示第百七號 七月十五日

本府尋常師範學校學科目學級學期教授日數休業日及檢定等ニ關スル件左ノ通相定ム

但明治二十七年公示第二十二號ヲ廢止ス

京都府尋常師範學校學科目學級學期教授

日數休業日及檢定等ニ關スル規程

- 第一條 男生徒學科目ニ外國語農業手工ヲ加フ
- 第二條 生徒ハ之ヲ左ノ六學級ニ編制ス
 - 第一學級 男子一學年生 廿五名
 - 第二學級 男子二學年生 廿五名
 - 第三學級 男子三學年生 廿五名

第四學級 男子四學年生 廿五名

第五學級 女子一學年生 十七名

第六學級 女子二學年生 十七名

第三條 學年ハ之ヲ左ノ三學期ニ區分ス

第一學期 男子四月一日ヨリ七月廿三日迄
女子四月一日ヨリ七月十五日迄

第二學期 九月四日ヨリ十二月廿四日迄

第三學期 一月八日ヨリ三月三十一日迄

第四條 教授日數ハ 男子每年四十四週 教授時間ハ每週三十四時ト
女子每年四十三週

第五條 休業日ヲ定ムルコト左ノ如シ

日曜日

大祭日祝日

夏期休業

男子七月廿四日ヨリ九月三日迄
女子七月十六日ヨリ九月三日迄

冬期休業

十二月廿五日ヨリ一月七日迄

第六條

檢定ノ方法ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 生徒ヲ檢定スルニハ學業實地授業ノ外人物體力ノ二項ヲ加フ

二 檢定ノ成績ハ一等乃至五等ノ五等ニ評定シ各學科實

地授業及人物體力各項ノ等級四等以上ヲ及第トス

但シ五等ノモノト雖モ特別ノ見込アルモノハ假ニ

及第七シムルコトアルヘシ

三 學業ノ檢定ハ各學科毎ニ各學期末其等級ヲ評定シ學

年中各學科毎ニ其等級ヲ平均シタルモノ、平均ニモ

リテ其學年ノ等級ヲ定ム

四 實地授業ノ檢定ハ學年中附屬校園ニ於テ實地ニ教授

管理ヲ擔任シタル狀況ヲ觀察シテ學年末ニ其等級ヲ

定ム

五 人物ノ檢定ハ訓練ノ功果ヲ査察審案シテ學年末ニ其

等級ヲ定ム

六 體力ノ檢定ハ體格ノ検査體質ノ診斷及健康ノ統計ト

其他ノ狀況トヲ査察審案シテ學年末ニ其等級ヲ定ム

七 學年末各項ノ等級ヲ平均シテ學年中各人ノ成績ヲ定

ム

八 在學中各項毎ニ其等級ヲ平均シ此ノ平均等級ヲ平均

シタルモノニヨリ卒業ノ席次ヲ定ム

第七條 卒業生ニハ左ノ書式ノ卒業證書ヲ授與ス

卒業證書

當校之印

族籍姓

生年月名

右者當校ニ於テ尋常師範學校ノ課程ヲ卒業セリ依テ之ヲ證ス

年月日

京都府尋常師範學校長
位勳爵姓名印

番號

第八條 資質十全ナラサル爲メ到底修學ニ堪ヘスト認ムル生徒ニハ退學ヲ命スルコトヲ得

第九條 男生徒中第二學年以上ノ課程ヲ修了シタルモ其資質尙進ンテ全科ヲ履修スルニ堪ヘスト認ムルモノニハ明治二十五年文部省令第十五號尋常師範學校簡易科規程ニ照シ六ヶ月以上其不足ノ學力ヲ補充シ之レニ簡易科卒業證書ヲ授與スルコトヲ得

第十條 女生徒中第一學年以上ノ課程ヲ修了シタルモ其資質尙進ンテ全科ヲ履修スルニ堪ヘスト認ムルモノニハ本校所設保姆傳習規則ニ照シ六ヶ月以上其不足ノ學力ヲ補充シ之ニ保姆傳習科修了ノ證書ヲ授與スルコトヲ得

第十一條 第八條第九條第十條ノ場合ハ學校長ニ於テ豫メ府知事ノ指揮ヲ乞フヘシ

公示第百八號 十八日略ス

公示第百九號 十九日

四百六十四

明治廿五年當府告示第二十六號尋常師範學校小學校教員
講習規則第十五條第一項ヲ左ノ通改正ス

講習員ニシテ引續一ヶ月以上欠席スル者アルトキ若ク
ハ學校長ノ訓誨ニ從ハス養成ノ見込ナシト認ムルモノ
アルトキハ退學セシム此場合ニ於テハ第十三條ニ依リ
給費金額ヲ一時ニ償還スヘシ

公示第百十號 廿三日

京都府高等女學校規則別紙ノ通改正シ來ル九月一日ヨリ
實施ス

京都府高等女學校規則

第一章 通則

第一條 本校は優良の婦女を教養するを以て目的とし本
科補習科裁縫専修科を置く

第二條 學年は四月一日に始り翌年三月三十一日に終る

第三條 學年を分ちて三學期とす第一學期は四月一日よ
り八月三十一日に至り第二學期は九月一日より翌年一
月七日に至り第三學期は一月八日より三月三十一日に
至る

第四條 授業時数は毎週凡三十時とす

但夏期休業前後三週間以内は十八時まで減すること
あるへし

第五條 休業日は左の如し

四百六十五

日 曜 日

大 祭 祝 日

皇 后 宮 御 誕 辰

夏 期 自七月廿一日至八月卅一日

冬 期 自十二月廿六日至翌年一月七日

春 期 自四月一日至同月七日

第六條 生徒の募集は毎學年の始に於てす

但缺員ある時は臨時入學を許すことあるへし

第七條 入學志願者にして京都市内に居住する者は戸主

たる父兄若くは後見人等保證人となり第一號第二號書

式に準し願書及履歷書を差出すへし

第八條 京都市外の入學志願者は京都市内に居住し若く

は寄留し丁年以上にして一家計を立つる者に保證を托し前條の手續を爲すへし

(第一號書式)

入 學 願

私 義 御 校

本科
補習科
裁縫專修科

第何年級へ入學志願ニ付御許容被下度

依テ履歷書相添へ保證人連署此段相願候也

道廳府縣華士族平民

何某何女或ハ姉妹戸主等

年 月 日

本 人 何

某 印

右父兄若クハ後見人(他ノ保證人ナルハ其ノ住所及職業ヲモ記スヘシ)

保 證 人 何

某 印

京 都 府 高 等 女 學 校 長 何 某 殿

履 歷 書

道廳府縣華士族平民
何某何女或ハ姉妹戸主等

何

某
生年月日

原籍 道廳府縣何國何市區郡何町村何番地

生所 道廳府縣何國何市區郡何町村何番地

住所 道廳府縣何國何市區郡何町村何番地又ハ何某方寄留

家長ノ職業 成ルヘク詳密ニ記入スヘシ但他人ノ家ニ寄留
スルトキハ其ノ家長ノ職業ヲモ記スヘシ

痘 種痘或ハ天然痘

一何年何月何地公私立何學校ニ入り何級迄修業或ハ卒業

一何年何月ヨリ何年何月迄何地何某ニ就キ何學修業

修業用書何々

一何年何月何所ニ於テ何事ニ就キ賞罰ヲ受ク等

右之通候也

右父兄若クハ後見人

何

某印

年月日

第九條 入學志願者は學力認定若クハ試験の上相當の學級に編入すへし

第十條 入學の許可を得たる者は第三號書式に準し保證人より證書一通を差出すへし

入學證書

道廳府縣華士族平民

何某何女或ハ姉妹戸主等

何

某

生年月日

右之者今般御校へ入學御許可相成候ニ付テハ御規則固
ク可爲相守ハ勿論猥ニ退學等爲致問敷且在學中同人身
上ニ關スル事件ハ私一切引受御命令又ハ御指示ニ遵ヒ
處辨可致依テ證書差出候也

京都市何京區何町何番戸

年月日

保證人 何

某印

京都府高等女學校長何某殿

前書保證人ハ本部内ニ居住(寄留)シ丁年以上ニシテ一家
計ヲ立ル者ニ相違無之候也

年月日

何京區長 何

某印

第十一條 學期末休業前に於ては其の學期間の學業を試
み且平常の成績と行狀とを考查し以て其の進否を驗し
學年の終に於ては每學期の成績及行狀を考查し及落第
を判定す

但學科によりては平常の成績のみを以て優劣を考查
し定期の試業を省くことあるへし

第十二條 平素の行狀優良にして學力秀抜の者には學年
末に於て褒賞を與ふることあるへし

但學力尋常なるも平素の行狀特に優良にして生徒の模範と爲すへき者と認る者は本文に準することあるへし

第十三條 生徒又は保證人轉居するときは速に届出つへし

第十四條 生徒病氣又は事故によりて缺席するときは別に定めたる手續に隨ひ其の旨保證人より届出つへし

第十五條 二學期以上引續き缺席する者は學籍を除く

第十六條 生徒は修學半途にして猥に退學するを許さず若疾病其の他止むを得ざる事故の爲に退學せんとするときは其の事由を詳具し保證人より願出へし

第二章 本科

第十七條 本科の學科目は修身、國語、外國語、歴史、地理、數學、理科、家事、裁縫、習字、圖畫、音樂、體操とし隨意科目として漢文を加ふ其の課程は別表の如し

但外國語は修學の志望なき者には缺くことを得しむ其の時間を以て裁縫を修めしむ

第十八條 生徒の志望に依り一週一回若くは二回授業時間を差繰り家事、裁縫、音樂の一部として茶儀、生花、押繪、編み物、筆曲の一科若くは數科を授く

第十九條 本科の修業年限は六箇年とす

第二十條 本科の生徒たるを得へき者は品行端正身體健全にして修業年限四箇年の尋常小學校卒業の者若しくは之と同等以上の學力を有する者たるへし

第二十一條 授業料は一學年第一年級より第二年級まで管内生金七圓五拾錢管外生金九圓第三年級より第六年級まで管内生金拾貳圓管外生金拾五圓とす之を三學期に分ち每學期の始に於て左表の如く納むへし

但第十八條の學科を兼修する者は別に一箇月金參拾錢を納むへし

學期	第一學年級より第二學年級まで		第三學年級より第六學年級まで	
	管内生	管外生	管内生	管外生
第一學期	金貳圓五拾錢	金參圓	金四圓	金五圓
第二學期	金貳圓五拾錢	金參圓	金四圓	金五圓
第三學期	金貳圓五拾錢	金參圓	金四圓	金五圓

第二十二條 各學年の課程を修了したる者には第四號書

式の證書を與へ最終學年の課程を修了したる者には第五號書式の證書を與ふ

(第四號書式)

修業證書

校印

道廳府縣華士族平民

何

某

生年月

右ハ當校本科第何學年ノ課程ヲ學修セリ依テ

爰ニ之ヲ證ス

年月日

京都府高等女學校

番號

(裏面ニ修了ノ學科目ヲ記載ス)

(第五號書式)

四百七十六

卒業證書

道廳府縣華士族平民
何 某
生年月

校印

右ハ當校所定ノ本科課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒
ヘタリ依テ爰ニ之ヲ證ス

年月日

京都府高等女學校長何某印

番 號

(裏面ニ修了ノ學科目ヲ記載ス)

第三章 補習料

第二十三條 補習料の學科目は修身、國語、外國語、數學、家事、裁縫、習字、圖畫、音樂、体操、漢文、教育とす其の課程は別表の如し

但別表修身、家事、裁縫及体操中○印を附したるもの、外は撰科修業を許す此の場合に於ては教授の都合に依り時間を増すことを得

第二十四條 補習料の修業年限は一箇年乃至二箇年とす

第二十五條 補習料の生徒たるを得へき者は品行端正身體健全にして高等女學校卒業の者たるへし

第二十六條 授業料は一學年管内生金拾貳圓管外生金拾五圓とす四月九月二月の三回に納むへし

四百七十七

第二十七條 一箇年以上の課程を修了したる者には第六號書式の證書を與ふ

(第六號書式)

修業證書

校印

道廳府縣華士族平民

何 某

生年月

右ハ當校所定ノ補習科ノ何々學科ヲ二年間學修セリ依テ爰ニ之ヲ證ス

年月日

京都府高等女學校長何某印

番 三 號

第四章 裁縫專修科

第二十八條 裁縫專修科の學科目は修身、裁縫、國語、數學、家事、習字、音樂とす其の課程は別表の如し

但志望の者は第十八條の學科を兼修することを得

第二十九條 裁縫專修科の修業年限は三箇年とす

第三十條 裁縫專修科の生徒たるを得へき者は品行端正身體健全にして尋常小學科を修了したる者若くは之に相當する學力を有する者にして年齢十二年以上の者たるへし

第三十一條 學年の始に於て裁縫專修科の初年級に入らんとするものは第九條の規定に據らす總て試験生として入學を許し一學期間其の進否を試み該學期末の試験

に於て合格不合格を判定す
第三十二條 裁縫專修科の生徒にして高等小學科修了以
上の學力を有する者は數學、習字、音樂の三科目は之を缺
く事を得此の場合に於ては其の時間を以て裁縫を修め
しむ

第三十三條 授業料は一學年管内生金七圓五拾錢管外生
金九圓とす四月九月一月の三回に納むべし
但第十八條の學科を兼修する者は別に一箇月金參拾
錢を納むべし

第三十四條 各學年の課程を修了したる者には第七號書
式の證書を與へ最終學年の課程を修了したる者には第
八號書式の證書を與ふ

(第七號書式)

修業證書

校印

道廳府縣華士族平民

何

某

生年月

右ハ當校裁縫專修科第何學年ノ課程ヲ學修セ
リ依テ爰ニ之ヲ証ス

年月日

京都府高等女學校

番號

卒業證書

校印

道廳府縣華士族平民

何

某

生年月

年月日

右ハ當校所定ノ裁縫專修科課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタリ依テ爰ニ之ヲ證ス

京都府高等女學校長何某印

番號

第三十五條 裁縫專修科の生徒中特に音樂志望者には一箇年乃至二箇年間一週六時乃至八時唱歌及樂器用法を授く此の場合に於ては別に一箇月管内生は金五拾錢管外生は金六拾錢を納むへし

但一箇年間以上修業したる者には試験の上修了證明書を與ふ

第五章 寄宿舍

第三十六條 本校に寄宿舍を設け遠隔地方より來學する者に入舍を許す

但當地に寄留所を有する者たりとも其の寄留所の如何に依りては學校より入舍を命することあるへし

第三十七條 入舍を願ふ者は第九號書式に準し保證人捺

印の願書を差出すへし

(第九號書式)

入舎願

私義今般入舎勤學致度尤御許可ノ上ハ御舎則堅ク相守
リ可申此段相願候也

年月日

何學科 何

某印

京都市何京區何町何番戸

保證人 何

某印

京都府高等女學校長何某殿

第三十八條 食料は時價に隨ひ寄宿料は一箇月金參拾錢

とす毎月未定日に於て之を納むへし

第三十九條 寄宿生徒疾病に罹る時は醫員の診斷を受け

病室に在て療養すへし

但し病症によりては直に病院に入らしめ或は保證人
に引き取らしむへし

第四十條 冬夏休業中歸郷せんとする者は保證人連署届

出へし

第四十一條 冬夏休業中の外は下宿を許さす若し止むを

得ざる事故ありて下宿せんとする者は其の日數を豫定
し其の事由を詳記し保證人或は父兄捺印の願書を差出
すへし尙延日する時は更に其の手續を爲すへし

但父兄若くは尊屬親戚の許に非れば下宿するを得ず

第四十二條 毎水曜日放課後及毎休日には舎監の許可を

受け二人以上の同伴を得て二時間以内外出することを
得へし

但時宜により舎監より同伴人を指名し若くは同伴人
の都合により外出を許さ、ることあるへし

第四十三條 前條に定めたるもの、外已むを得ざる所要
ありて特別に外出せんとするときは特別に定めたる順
序を履み舎監の許可を得て半日以内外出することを得
へし

但午前に出る者は午十二時に午後に出る者は歸舎定
時前に歸舎すへきものとす

第四十四條 前二條の外已むを得ざる事故ありて半日以
上外出せんとする者は其の時間を豫定し其の事由を詳

記し保證人或は父兄捺印の書面を以て願ひ出うへし

第四十五條 外出及歸舎時限は日晷の長短により時々之
を定む

第四十六條 歸舎時限に後る、者は父兄若くは保證人捺
印の理由書を出し指揮を俟つへし

第四十七條 學資は別に示せる標準に超過せざるを要す
第四十八條 病氣にて缺課せんとする者は始業前舎監を

經て届書を差出すへす
第四十九條 金銭はすへて舎監に預け置き需用の都度受
け取るへし

第五十條 新聞雜誌若くは課業外の書籍は校長の許可を
經るに非れば携持し又は購讀するを許さず

第五十一條 每寮生徒中より寮長一人を指命し一寮内の生徒を保護し及規則並に時々之の命令を服従して實行するの任に當らしむ

第五十二條 退舎せんとする者は其の事由を詳具し保證人より願ひ出つへし

京都府高等女學校補習科課程表

學科	學年	第一		第二	
		年	全上	年	全上
修身	二	〇〇人倫道德ノ要旨	二	全	上
國語	四	講讀 歌讀 作文	四	全	上
外國語	三	讀方 譯文	三	全	上
英語	三	會話 作文	三	全	上
數學	二	算術 幾何	二	全	上

家事	二	〇〇生 烹茶 儀	二	全	上
裁縫	六	〇〇縫方 〇裁方 〇繕方	六	全	上
習字	一	楷書 行書 假字交リ草書	一	全	上
圖畫	二	習畫 寫生	二	全	上
音樂	二	單音唱歌 複音唱歌 樂器用法 箏曲	二	全	上
體操	二	〇〇遊戯普通體操	二	全	上
漢文	二	講讀	二	全	上
教育	三	教育ノ原則 保育法	三	全	上

備考 ● 毎週一回乃至二回割烹實習ヲ課ス其時間ハ裁縫ヨリ融通シテ之ニ充ツ

● 表中〇印ヲ附シタルモノ、外ハ撰科修業ヲ許ス

京都府高等女學校本科課程表

四百九十

學科	學年		第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
	科目	時間						
修身	二	要旨	二	二	二	二	二	二
國語	六	講義	六	六	六	六	六	六
外國語	三	讀解	三	三	三	三	三	三
歷史			二	二	二	二	二	二
地理			一	一	一	一	一	一
數學	四	整數分數ノ加減乘除	四	四	四	四	四	四
理科	二	天然物及現象	二	二	二	二	二	二

家事	裁縫	習字	圖畫	音樂	體操	漢文
二	五	二	一	二	二	
衛生、家内整理ニ關スル雜件、法、割烹	縫針方法	楷書	習畫	單音唱歌	遊藝	
	五	三	一	二	二	
	上	上	上	上	上	
	五	二	三	一	二	
	裁縫	行書	習畫	上	上	
	方	草書	生畫	一	二	
	五	一	二	二	二	
	上	行書	習畫	上	上	
	二	假字交リ	案寫生	二	二	
	五	方	生	二	二	
	方	方	案	二	二	
	上	方	寫生	二	二	
	二	方	案	二	二	
	上	方	寫生	二	二	
	二	方	寫生	二	二	
	上	方	寫生	二	二	
	二	方	寫生	二	二	
	上	方	寫生	二	二	
	二	方	寫生	二	二	
	上	方	寫生	二	二	

備考 ●第六年生ニハ每週若クハ隔週一回割烹實習ヲ課ス其ノ時間ハ裁縫ヨリ

屬通シテ之ニ充ツ ●漢文ヲ修メサルモノハ其ノ時間ヲ自修ニ充ツ

四百九十一

京都府高等女學校裁縫專修科課程表

四百九十二

學 科 目	年	學 時 數	修 身	裁
				縫
第一	年	上全	二	裁方 一ツ身及カイトツ カミ、本身單物 附鍵衽柳衽、本 身男物表裏并八 掛、一ツ身、三ツ
第二	年	上全	二	裁方 女物八掛付及奧 裏、單羽織、一ツ 身及中裁ノ被風、三 片面物單羽織、男 物表裏剛鍵衽柳 衽、袷羽織表裏、 半股引、中巾縮緬
第三	年	上全	二	裁方 片面物袷羽織、小 裁袴、中裁袴、股引 被風、片面物四ツ身 ツチ、袷袴、振袖八 掛付及奧裏、本 身女物被風表裏、 人産根ハツチ、初

國 語	數 學	家 事	習 字	音 樂
四 講 讀 文	二 珠 算 加 減 乘 除	一 衣 食 住 家 事 衛 生 經 濟 ニ 關 ス ル 雜 件	一 行 書	一 單 音 唱 歌
四 全 上	一 比 例	一 衣 食 住 家 事 衛 生 經 濟 ニ 關 ス ル 雜 件	一 草 書	一 全 上
三 全 上	一 比 例	一 家 計 簿 記 家 内 整 理 ニ 關 ス ル 雜 件 育 兒 法 割 烹	一 假 字 交 り 草 書	一 全 上

備考 ● 第三年生ニハ每週若クハ隔週一回割烹實習ヲ課ス其ノ時間ハ裁縫ヨリ
融通シテ之ニ充ツ

四百九十三

公示第百十一號 七十四日

四百九十四

町村制第四條二項ニ依リ天田郡上夜久野村字直見小字與栗尾三百三十二番地柴草山反別六町一反九畝十五步同三百三十三番地柴草山反別六町四反一畝二十步ヲ同郡下夜久野村字畑小字與栗尾ニ編入セリ

公示第百十二號 七十四日 署ス

公示第百十三號 七十三日

加佐郡伊佐津川字山崎下流西側堤防水害豫防組合區域左ノ通相定ム

水害豫防組合設置區域

中筋村ノ内大字十倉小字ズエノシタ第七十一番地ヨリ第

七十番地マテ、全幾白^{第六十番地ヨリ}第六十六番地マテヲ除キ其他、大字京田小字下ノ丁、全上ノ丁、全道成、全谷口、全三角、全中川、全アコ、全五反田、全花ノ木、全大垣、全森、全大田、全大角^{第百五十一番地}ヲ除キ其他、全小角第三百六十二番地ヨリ三百七十番地マテ及第三百八十一番地ヨリ第三百八十八番地マテ、全丸山第五百二十三番地ヨリ第五百三十五番地マテ、大字七日市、大字萬願寺伊佐津川以西、大字境谷伊佐津川以西、大字公文名高野川以東、大字伊佐津、大字引土高野川以東、舞鶴町ノ内、大字東吉原大字西吉原ヲ除キ其他、餘内村ノ内、大字倉谷伊佐津川以西、大字上安久同、大字下安久同、大字圓滿寺

公示第百十四號 七十三日 署ス

公示第百十五號 七十一日

四百九十五

大阪大林區署本月二十六日大阪府東成郡西高津村第百八十七番屋敷へ移轉ス

公示第百十六號 一八 月 日 署ス

公示第百十七號 七 月 日 署ス

公示第百十八號 七 月 日 署ス

公示第百十九號 七 月 日 署ス

公示第百二十號 二八 月 日 署ス

本府測候所并ニ丹後國舞鶴宮津ノ両海岸ニ於テ左記ノ如ク本年八月十日ヨリ暴風警報信號標ヲ掲揚ス

記

一海上不穩又ハ海陸ニ風雨ノ虞アリノ警報ハ晝間ハ赤球ヲ夜間ハ紅燈ヲ掲ク

一暴風ノ虞アリノ警報ハ晝間ハ赤圓錐ヲ掲ク夜間ハ横列紅燈二個ヲ掲ク

公示第百二十一號 二八 月 日 署ス

公示第百二十二號 一八 月 日 署ス

公示第百二十三號 五八 月 日 署ス

公示第百二十四號 五八 月 日 署ス

公示第百二十五號 九八 月 日 署ス

公示第百二十六號 九八 月 日 署ス

京都市上京區烏丸二條下ル秋野々町

十一番戸平民

特許藥用阿片賣捌人 谷 田 ア サ

右死亡ニ付相續人谷田啓造ニ藥用阿片賣捌ヲ特許セリ

- 公示第二百二十七號 十八日 畧ス
- 公示第二百二十八號 十八日 畧ス
- 公示第二百二十九號 十八日 畧ス
- 公示第二百三十號 十八日 畧ス
- 公示第二百三十一號 十八日 畧ス
- 公示第二百三十二號 十八日 畧ス
- 公示第二百三十三號 十八日 畧ス
- 公示第二百三十四號 十八日 畧ス

京都市一般

當府中立賣警察署屬東洞院巡查派出所ヲ本月十六日京都

市上京區九太町通車屋町へ移轉シ九太町巡查派出所ト改稱ス

- 公示第二百三十五號 二十七 日 畧ス
- 公示第二百三十六號 二十七 日 畧ス

公示第二百三十七號 三十一日 畧ス

公示第二百三十八號 三十一日 畧ス

公示第二百三十九號 六 日 月

府下相樂郡稻田村宇治郡宇治村同郡醍醐村ニ於テ土地買
 得者讓受者ニ賦課スル村税並ニ相樂郡高麗村紀伊郡東九
 條村ニ於テ土地建物買得者讓受者ニ賦課スル村税ハ直接
 税トス

公示第四百四十號 十七日 畧ス

公示第四百四十一號 二十一日 畧ス

公示第四百四十二號 二十一日 畧ス

公示第四百四十三號 二十四日

府下相樂郡瓶原村ニ於テ土地建物買得者讓受者ニ賦課ス

ル村税ハ直接税トス

公示第四百四十四號 九月二十五日 署ス

公示第四百四十五號 二月 日

當府巡查志願手續別紙之通相定メ候條此旨公示ス

巡查志願手續

第一條 當府巡查志願ノ者ハ試験ノ上採用ス

第二條 巡查志願ノ者ハ第一號書式ノ志願書ニ第二號書式ノ身元保証書第三號書式ノ身元証明書ヲ添ヘ試験期日前左ノ豫定ヲ以テ差出スヘシ

一 巡查教習所ニハ 試験期日 二日前

一 市部警察署分署ニハ 同 三日前

一 郡部警察署分署ニハ 同 一週日前

第三條 身元保証人ハ京都府管内ニ本籍ヲ有スル丁年以

上ノ戸主ニシテ身元確實ナル者一名ヲ要ス

第四條 身元保証人ニシテ死亡轉籍其他事故ニ依リ其資

格ヲ失ヒタルトキハ更ラニ保証人ヲ立テ五日以内ニ第

四號書式ノ届書ヲ差出スヘシ

第五條 試験期日ハ毎月十日二十日(土曜日及祝日)ノ二

回トス

但シ臨時試験ヲ要スルトキハ其旨公示ス

第六條 巡查志願者ハ試験當日(四月二十日ヨリ九月十日迄午前八時)ニ巡

査教習所ニ出頭シ試験官ノ指揮ヲ待ツヘシ

第一號書式 (用紙半紙)

巡查志願書

何府縣何郡區市何町村何番地

華士族又ハ平民

戶主又ハ何某何男又ハ兄弟

當時何府縣何郡區市何町村何番戶寄留

氏名

生年月日

明治何年何月何日何年何月

右當府巡查志願ニ付御試験被成下度履歷書相添此段奉願
上候也

右

年月日

氏名印

京都府知事

殿

履歷書

一何年何月何日ヨリ何年何月何日迄公立何學校ニ於テ何學修業又ハ卒業

一何年何月何日何兵何隊ニ編入何年何月除隊

一何年何月何日任何官叙何々級何級俸 何廳

一全 何々勤務ヲ命ス 全

一全 依願免本官 全

一全 巡查ヲ命ス 全

一全 依願巡查ヲ免ス 全

一全 雇ヲ命ス 全

一全 依願雇ヲ免ス 全

賞罰

一何年何月何日 何々ノ廉ヲ以テ賞與金何圓下賜 全

一全

何々ノ廉ヲ以テ罰俸金何圓被申付

第二號書式 (同上)

身元保証書

何府縣何郡區市何町村何番地

華士族又ハ平民

當時何府縣何郡區市何町村何番戸寄留

印紙

氏名

右當府巡查志願候處御採用之上ハ本人身上之義ハ何事ニ拘ハラス身元保証人ニ於テ一切引受可申候也

京都府何郡區市何町村何番地

華士族又ハ平民

年月日

戸主

氏

名印

京都府知事

殿

第三號書式 (同上)

身元証明書

原籍	何府縣何市區郡町村何番地
身分	華士族平民戸主或ハ何某何男兄弟
生年月日	何年何月何日生
家資分産又ハ身代限リ	無シ 但シ家資分産ノ宣告ヲ受ケタルモノハ復權ヲ得タルヤ否又從前身代限リノ處分ヲ受ケタルモノハ義務ノ辨償ヲ終ヘタルヤ否ヤヲ記スヘシ
兵役	國民軍又ハ現役歸休豫備後備等

右証明候也

年月日

何府縣何郡區市町村長

氏

名印

第四號書式 (同上)

身元保証人更改御届

京都府何郡區市何町何番地

華士族又ハ平民戸主



氏名

身元保証人何某今般何府縣へ轉住(又ハ死亡其他事故ヲ記
ス)候ニ付前記ノモノヲ以テ更ニ身元保証人ニ相立候然ル
上ハ本人ノ身上ニ關スル儀ハ何事ニ拘ハラス保証人ニ於
テ一切引受可申候依テ保証人連署ノ上此段御届候也

何警察(分)署詰

巡查 氏

名印

年月日

右

保証人 氏名印

京都府知事

殿

公示第四百十六號 三十一日

明治二十三年九月告示第七十九號寄付地取調書式別紙之
通改定ス

何々用敷地寄付願

△印ハ朱書

△登記簿照合濟ノ上郡役所
主任官証印スヘシ

何市區何通何町上ル下ル
何郡區何通何町東入西入何町
何市區何通何町大東入何町
何郡區何通何町小東入何町

第何番地

何市區何通何町上ル下ル
何郡區何通何町大東入何町
何市區何通何町小東入何町

一何等何地反別、、、步 △印收稅屬
捺印

持主 何 某 印

此地價、、、、、、、△印全

此地租、、、、、、、△印全

△寄付地數筆アルトキハ此例ニ倣ヒ列記スヘシ

△共有地ナルトキハ其人名住所戸番トモ悉ク列記シ押

印スヘシ

△但數十名ニ涉リ調書中列記シ難キモノハ字小何々

番地持主トシ各押印ノ名簿ヲ添付スヘシ

△一筆地ノ内幾分ヲ寄付セントスル土地ハ先ツ以分裂

地ヲ所管收稅署へ届出一筆ノ地所トナシ寄付出願ス

ヘシ又神社寺院所有地ハ神職住職本寺法類氏子惣代

檀中或ハ信徒惣代三名以上連印シ其寺院ニ係ル分ハ

管長副申書添付スヘシ

△二十年七月府令第百九十九號第二項ノ場合ニハ左記
ノ如ク記入スヘシ

△何年何月ヨリ何年何月マテ借金抵當(何々保證)ノ爲メ

市區郡 何某へ(買入)致置候

△何々ニ付何年何月中(差押)(假差押)(差留)(假差留)收益(差

押)ノ處分相成居候

右ハ何處ヨリ何處ニ通スル(道路)(溝渠)(付替)(改修)(新設)ノ義

何年何月何日第何號ヲ以御聽許相成候ニ付或ハ(何警察署)

(何郡役所)(何々)御設置相成候ニ付私(共)所有地該用地ニ係

リ候越依テ前記地所官有地ニ寄付仕度別紙繪圖相添へ此

段奉願候也

何郡町村字何々何番戸

年月日

寄付者惣代 何 某 (實印)

何郡町村字何々何番戸

寄付者惣代 何 某 (實印)

△惣代ハ前記用地持主ノ内ニテ二名以上記名調印ヲ要ス

何郡町村字何々何番戸

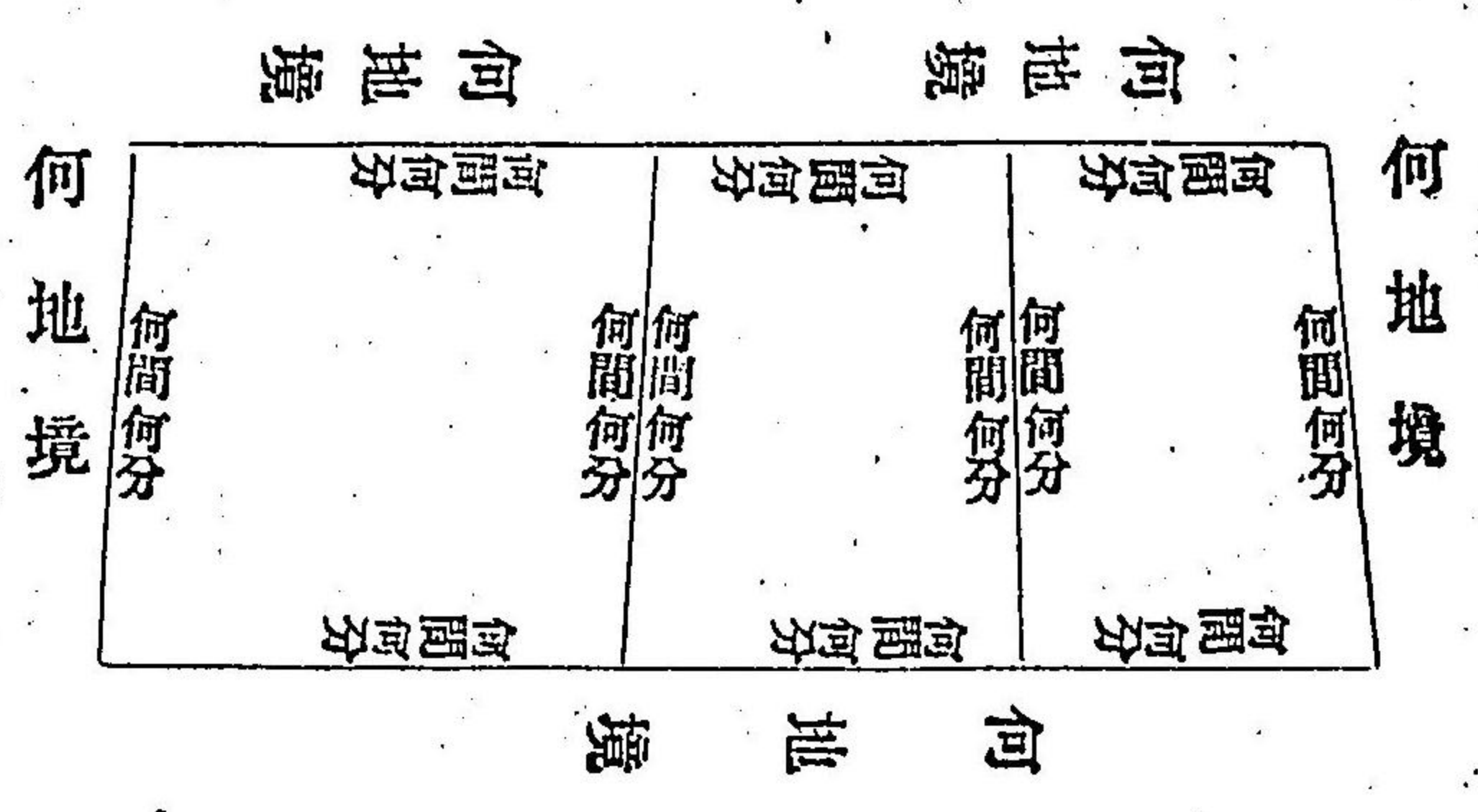
起工者 何 某 (實印)

△起工者ハ道路溝渠等ノ起工者ニ限リ記名調印ヲ要ス

京都府知事宛

何市區 何町村何々敷地寄付之圖

周圍間敷ハ境界ヲ證明スル爲メニ記入スルヲ以テ坪數ニハ關セス



字大何々何番地

何地反別何反何畝何十何步

字大何々何番地

何地反別何、、、、步

字大何々何番地

何地反別何、、、、步

△願書末記名調印者ニテ記名調印スヘシ

公示第四百四十七號 四月 日 畧ス

公示第四百四十八號 八月 日 畧ス

公示第四百四十九號 八月 日 畧ス

公示第四百五十號 八月 日 畧ス

公示第四百五十一號 八月 日 畧ス

公示第四百五十二號 十月 日 畧ス

古物商營業者ニシテ山形縣管内ニ於テ古物商取締法第四
條第一項ノ免許ヲ受ケントスル者ハ願書ニ營業免許地内
ニ有スル營業所又ハ店舖ノ所在地ヲ詳記シ且ツ營業免
許鑑札寫シニ所轄警察署又ハ警察分署ノ與書ヲ受クヘ

公示第四百五十三號 十月 日 畧ス

公示第四百五十四號 十月 日 畧ス

公示第四百五十五號 十月 日 畧ス

府下相樂郡泊田村ニ於テ土地建物買得者讓受者ニ賦課ス
ル村税并ニ愛宕郡鷹峰村ニ於テ土地買得者讓受者ニ賦課
スル村税ハ直接税トス

公示第四百五十六號 十一月 日 畧ス

公示第四百五十七號 十一月 日 畧ス

公示第四百五十八號 十一月 日 畧ス

公示第四百五十九號 十一月 日 畧ス

公示第四百六十號 十一月 日 畧ス

公示第四百六十一號 十一月 日 畧ス

公示第四百六十二號 十一月 日 畧ス

公示第六十三號 十一月 署ス

公示第六十四號 十一月 署ス

公示第六十五號 十一月 署ス

公示第六十六號 十一月 署ス

福井縣ニ於テハ左之通發令シタル旨通知アリタリ

福井縣令第五十八號

名義ノ如何ニ拘ラス人ノ住家ニ就キ金錢物品ノ寄進惠與
ヲ勸誘募集セントスル者ハ豫メ其目的方法及住所氏名年
齡ヲ詳記シ所轄警察分署ヲ經テ縣廳ニ届出認可ヲ受クヘ
シ但不正ノ行爲アリト認めルトキハ認可ヲ取消スコトア
ルヘシ

本令ニ違背シタルモノハ三日以上十日以下ノ拘留又ハ壹

圓以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

公示第六十七號 十一月 署ス

公示第六十八號 十一月 署ス

公示第六十九號 十一月 署ス

公示第七十號 十一月 署ス

公示第七十一號 十一月 署ス

公示第七十二號 十一月 署ス

公示第七十三號 十一月 署ス

公示第七十四號 十二月 署ス

今般小學校教員免許狀ヲ授與シ候補者名籍ニ登録セシモ
ノ左ノ如シ

小學校本科正教員

滋賀縣平民 山口方三郎

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五百十六

三重縣平民 田中彌男造

京都府士族 有馬仲藏

京都府平民 田宮兼次郎

石川縣士族 荒井顯定

京都府士族 田中友二郎

京都府平民 桂信治郎

京都府士族 白井誠吉

京都府士族 河村秀雄

京都府士族 今村耕造

京都府平民 志保田銚吉

京都府平民 二股卓爾

京都府平民 田中藤左衛門

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

京都府士族 大橋唯一

京都府平民 川勝五郎三

京都府平民 島田吉松

京都府士族 羽室蒼治

京都府平民 片山喜十郎

京都府平民 森馬太郎

京都府平民 日下部捨吉

京都府平民 辻スエ

京都府平民 大西ライ

京都府士族 渡邊トエ

京都府平民 井上イワ

京都府士族 新宮フミ

五百十七

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五百十八

京都府士族	安部田住枝
京都府平民	大澤千鶴
京都府平民	菅蒲池スミ
京都府平民	永井カメ
京都府士族	木戸キヨ
京都府平民	安田元次郎
京都府平民	澤野井久江
大阪府平民	山下シウ
京都府平民	仙元重太郎
京都府平民	砥山仲藏
京都府士族	内海ノブ
京都府士族	黒田金次郎

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五百十九

京都府平民	濱谷カウ
京都府士族	吉田サソ
京都府平民	川原信義
京都府士族	山本安恭
北海道廳士族	矢島直信
和歌山縣平民	中筋助次郎
島根縣士族	三成松太郎
福井縣平民	小和田卯之助
高知縣士族	茨木兼彦
石川縣士族	山田忠美
京都府平民	加舎稔
京都府士族	竹澤貞三郎

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五百二十

京都府平民 櫻井八郎

奈良縣平民 西俣廣吉

北海道廳士族 鈴江卯之太郎

愛媛縣士族 鈴木雄次郎

大阪府平民 山下益榮

京都府平民 田井定次郎

滋賀縣平民 岡本 艶

京都府士族 猪子氏 豊

京都府士族 佐々木真吉

京都府平民 奥田專三郎

京都府士族 岡本清約

京都府平民 畑 愛之助

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

三重縣平民 寶田象太郎

東京府士族 鈴木幹止

京都府平民 岩佐米次郎

京都府平民 越 智 新

京都府平民 淺井榮次郎

京都府士族 上野 佐壽

岩手縣士族 野田 太郎

京都府平民 奥村原次郎

高知縣士族 中島 安猪

鳥取縣士族 中山 三子

京都府平民 高谷 八十

石川縣平民 田中 佳作

小學校專科正教員

小學校本科准教員

五百二十一

同 同 同 同 尋常小學校本科正教員 同 同 同 同 同 同 同

京都府士族

北大路ッマ

京都府士族

中村トミ

京都府平民

山田キミ

大阪府士族

井上カ子

京都府平民

越智笹代

京都府平民

西田スヒ

京都府平民

中島榮

兵庫縣平民

百濟周太郎

京都府士族

杉浦相養

鳥取縣士族

山内利藏

兵庫縣士族

片桐謙一

滋賀縣平民

林觀榮

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

愛媛縣平民

阿部利吉

京都府士族

木村兼

大阪府平民

高雄子郎

京都府平民

大木鹿之助

京都府士族

奥村千恵

京都府士族

山岡要之助

京都府士族

今井文喜

京都府平民

四方延之助

京都府平民

長尾保太郎

京都府平民

福本繁藏

京都府平民

脇田良吉

京都府平民

松島秀光

五百二十五

五百三十四

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五百二十六

京都府平民	畑 正太郎
京都府士族	片岡善英
京都府平民	大西重三
京都府平民	福西禪兆
京都府士族	龜井正吉
京都府平民	芹田恭三
京都府平民	野村精一
京都府平民	森下倫三郎
兵庫縣平民	足立彌三郎
京都府平民	鹽見常藏
京都府平民	松本太吉
京都府平民	長澤見城

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

滋賀縣平民	萩原富三
京都府平民	岸田喜久造
京都府平民	奥村市之助
滋賀縣平民	長尾銀藏
京都府平民	飛轉順
京都府平民	新房次郎
京都府士族	河崎精一
京都府士族	栗田藤之助
京都府平民	栗山德三郎
京都府士族	堀永休
京都府平民	青木政吉
京都府平民	室田源吾

五百二十七

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五百二十八

京都府平民	前田喜三次
京都府士族	長澤盛綱
京都府士族	松川健雄
京都府平民	飯田正隆
京都府士族	佐原又二郎
新潟縣士族	岡本光太郎
京都府平民	村瀬吉太郎
京都府士族	吉村甚藏
京都府平民	竹岡惣太郎
京都府士族	岩崎啓人
三重縣平民	西山次郎
京都府平民	園田佐太郎

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五百二十九

京都府平民	塩見和之助
奈良縣平民	奥田敬二
京都府平民	福井竹藏
京都府平民	坂井彌作
京都府士族	岡純一
京都府平民	松宮龜次郎
京都府平民	笠岡龜九
京都府士族	橋本保太郎
京都府平民	角田浩一
京都府士族	雨森雄二
京都府平民	竹中利吉
京都府士族	高野瀬平馬

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五百三十

京都府平民 吉本平吉

京都府士族 谷村貞三郎

福井縣士族 佐藤鈔太郎

愛知縣平民 柴垣賢明

京都府平民 谷平吉

京都府士族 增井林太

京都府平民 竹田宇之助

岐阜縣士族 田中兼三郎

京都府平民 山崎三朗

鳥取縣士族 小原豐

京都府士族 諏訪辰治

和歌山縣士族 林茂磨

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

京都府士族 高木捨次郎

京都府平民 小早川四郎

京都府平民 白谷吉太郎

京都府平民 村上清藏

高知縣士族 石田茂樹

滋賀縣平民 萩原馬之助

京都府士族 大島雲治

愛媛縣士族 成田純吉

岡山縣平民 森丑太郎

島根縣平民 白石市之助

京都府士族 松宮不也

福井縣士族 永井芳太郎

五百三十一

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五百三十二

兵庫縣平民	武田龍劔
京都府平民	松本廣吉
愛媛縣士族	今井兼龍
京都府平民	藤內啓四郎
京都府士族	藤木氏清
京都府士族	榎原銳吉
滋賀縣士族	本間久三郎
大阪府士族	並河雄吉
京都府士族	片山義和
京都府士族	原敬子
京都府平民	鳥居フシ
京都府士族	太田義一

大分縣士族	一松又治
京都府士族	平山政道
京都府平民	藤村益太郎
京都府士族	池田虎次郎
京都府平民	西垣熊太郎
大分縣平民	矢野深
京都府士族	中村誠吉
京都府平民	今井久太郎
京都府平民	片山ヨ子
京都府平民	横田カツ
京都府平民	中井龜之助
京都府士族	川島董成

五百三十三

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五百三十四

京都府士族 永井松之助

大分縣平民 別木雅彦

滋賀縣士族 永田 肇

兵庫縣平民 藤林 シツ

京都府平民 深谷亮績

京都府平民 井本時藏

京都府士族 二松光愛

京都府士族 坂倉十一郎

京都府士族 神原正家

京都府平民 平松宇吉

京都府士族 喜多尾道誠

京都府士族 市村鹿藏

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

京都府平民 河村義磨

京都府士族 奥野脩吉

京都府平民 龍村績雄

京都府平民 村上徳太郎

京都府平民 綾野貢三郎

京都府平民 木村直次郎

京都府平民 北澤龍太郎

京都府平民 田村友吉

京都府平民 大西喜代松

京都府士族 岡田練太郎

京都府平民 大槻龜次郎

京都府平民 小林四郎吉

五百三十五

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

京都府平民	山内孫之助
京都府平民	松村宇市郎
京都府士族	澤野鏡五郎
京都府平民	上田藤吉
京都府平民	佐々木光太郎
京都府平民	谷垣秀太郎
京都府平民	田中清太郎
京都府平民	足立龜次郎
京都府平民	久世熊之助
京都府平民	吉良鹿之助
京都府平民	足立嘉吉
京都府平民	奥田孝雄

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 尋常小學校本科准教員

京都府士族	井上辰太郎
京都府平民	月見鏡久司
京都府平民	堀田茂吉
京都府平民	井上直
京都府平民	梅本龜吉
京都府平民	芦田文造
京都府平民	大江芳藏
京都府士族	中村正静
京都府平民	西垣敏郎
京都府平民	小堀繁
福井縣士族	佐藤鈔太郎
京都府平民	横田カッ

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五百三十八

三重縣士族	江原 毛卜
奈良縣平民	松下由治郎
京都府平民	鈴木要吉
京都府平民	藤村益太郎
島根縣平民	佐々木才太郎
京都府士族	宇佐美重雄
京都府平民	大林久三郎
京都府平民	長尾悦次郎
京都府平民	仲安三郎
京都府平民	龍村續雄
京都府平民	山本末吉
京都府士族	島田綾織

京都府士族	石田元季
京都府平民	森下正雄
岡山縣平民	松永謙太郎
京都府平民	中西鹿之助
京都府平民	大田秀吉
京都府平民	田淵初太郎
京都府士族	荻野鐵太郎
京都府平民	植田幸太郎
京都府平民	平松宇吉
京都府平民	川崎芳藏
鹿島縣士族	森繁二
京都府平民	田中元吉

五百三十九

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五百四十
 京都府平民 篠原 豊吉
 京都府平民 松村 シエ
 京都府平民 高 屋 蘭
 京都府士族 森安 嘉樹
 京都府平民 木戸 達次郎
 京都府士族 城 コト
 高知縣士族 中島 安猪
 京都府平民 上田 藤吉
 京都府平民 榎本 角藏
 京都府平民 高山 久太郎
 京都府平民 坂根 正美
 京都府士族 飯田 雄三

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

京都府士族 松山 成三
 京都府平民 森 直三
 京都府士族 柏原 豊弘
 京都府平民 西村 五郎
 京都府平民 山下 萬次郎
 京都府士族 大槻 直一
 滋賀縣士族 生沼 萬壽吉
 京都府平民 森田 潤次郎
 京都府平民 堀 慶太郎
 京都府平民 磯田 鼎三郎
 京都府平民 猪 奥 勇吉
 京都府士族 北村 市藏

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五百四十二

京都府士族	渡邊 珍久
京都府平民	柳澤 萬次郎
京都府平民	大槻 重作
京都府平民	龍村 導雄
京都府平民	小森 和五郎
京都府平民	佐々木 嘉吉
京都府平民	松本 竹之助
京都府平民	安達 披早吉
京都府平民	紙谷 久八
京都府平民	三宅 幹次
京都府平民	田村 松太郎
京都府平民	山口 直次郎

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五百四十三

京都府平民	片山 禎三郎
京都府平民	月見 幾久司
山口縣平民	草野 音槌
京都府平民	長澤 宗立
京都府平民	船越 平太郎
京都府平民	佐倉 一郎
京都府士族	宮崎 厚次
京都府平民	高橋 芳太郎
京都府平民	堀 仁之助
京都府士族	奥村 泰
愛媛縣士族	井上 德之
愛知縣平民	谷 訓法

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五百四十四

京都府平民	谷口孝之助
京都府平民	村上庄太郎
京都府平民	眞田伊織
京都府平民	相樂惠曉
京都府平民	吉岡敏江
京都府平民	瀧尾捨次郎
京都府士族	大石ヒヲ
京都府平民	木村常次郎
京都府士族	芝本信利
慶島縣士族	市成珍重
京都府士族	山本義太郎
京都府平民	高橋格三郎

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五百四十五

京都府平民	田中武治
京都府平民	野木又吉
京都府士族	岡本保皎
京都府平民	北山岩太郎
京都府平民	天川七一
京都府平民	橋本時藏
廣島縣平民	安井當太郎
京都府平民	増茂與吉
京都府士族	西村寅吉
京都府平民	大槻竹次郎
京都府平民	村上平藏
京都府平民	高瀬秀實

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五百四十六

京都府平民	梅垣喜藏
京都府平民	行待壽滿
京都府平民	河田祐之助
京都府平民	渡邊竹治郎
京都府平民	高橋宗太郎
京都府平民	大平萬太郎
京都府平民	清水茂
兵庫縣平民	垣田倉吉
京都府平民	牧達治郎
京都府平民	足立龜次郎
京都府平民	堀由太郎
京都府平民	上辻鶴吉

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五百四十七

京都府平民	山鳥千之助
滋賀縣平民	安澤啓次郎
京都府士族	田中致知
京都府平民	小篠百枝
京都府平民	足立完爾
京都府平民	杉山喜次郎
京都府平民	入江信太郎
京都府士族	岡田素榮
京都府平民	吉岡金造
京都府平民	吉良森三郎
京都府平民	前川納
靜岡縣平民	武内鳥能

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五百四十八

京都府士族	河原崎捨三郎
京都府平民	能勢龜吉
京都府平民	樋西竹造
京都府平民	大江六三郎
京都府平民	平井蘭溪
京都府平民	木戸一間
京都府平民	谷源助
京都府平民	小島齊吉
京都府士族	山口和三吉
京都府平民	村山勇吉
京都府平民	竹上半之助
京都府平民	上原松太郎

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

五百四十九

京都府平民	吉田惣吉
京都府平民	藤井治重
京都府平民	野間才藏
京都府平民	十倉覺次郎
京都府士族	宇野治行
京都府平民	塩見静一
京都府平民	中村春造
京都府平民	足立条之助
京都府平民	堀當雄
京都府士族	中村一平
京都府平民	岩間瀧之助
京都府士族	林田久吾

鳥取縣士族 植村財次郎

同

公示第七十五號 七十二日

明治二十六年十二月十二日公示第八十九號執務時間改

定ノ件ハ自今廢止ス

公示第七十六號 十三日略ス

公示第七十七號 十二日略ス

公示第七十八號 十二日略ス

公示第七十九號 十四日略ス

公示第八十號 十二日略ス

公示第八十一號 廿六日略ス

公示第八十二號

本年七月本府公示第一百十三號加佐郡伊佐津川水害豫防組

合設置區域ニ對スル組合ヲ設置シ加佐郡長ヲ同組合管理
者ニ指定ス

公示第八十三號 十八日略ス

公示第八十四號 廿七日略ス

公示第八十五號 廿七日略ス

公示第八十六號 廿七日略ス

明治三十年六月十八日印刷
明治三十年六月廿八日發行

京 都 府

印刷者

中 西 嘉 助

京都市上京區下立賣通小川東入
西大路町十番戶

印刷所

中 西 活 版 所

京都市上京區下立賣通小川東入
西大路町十番戶

4272A-79

